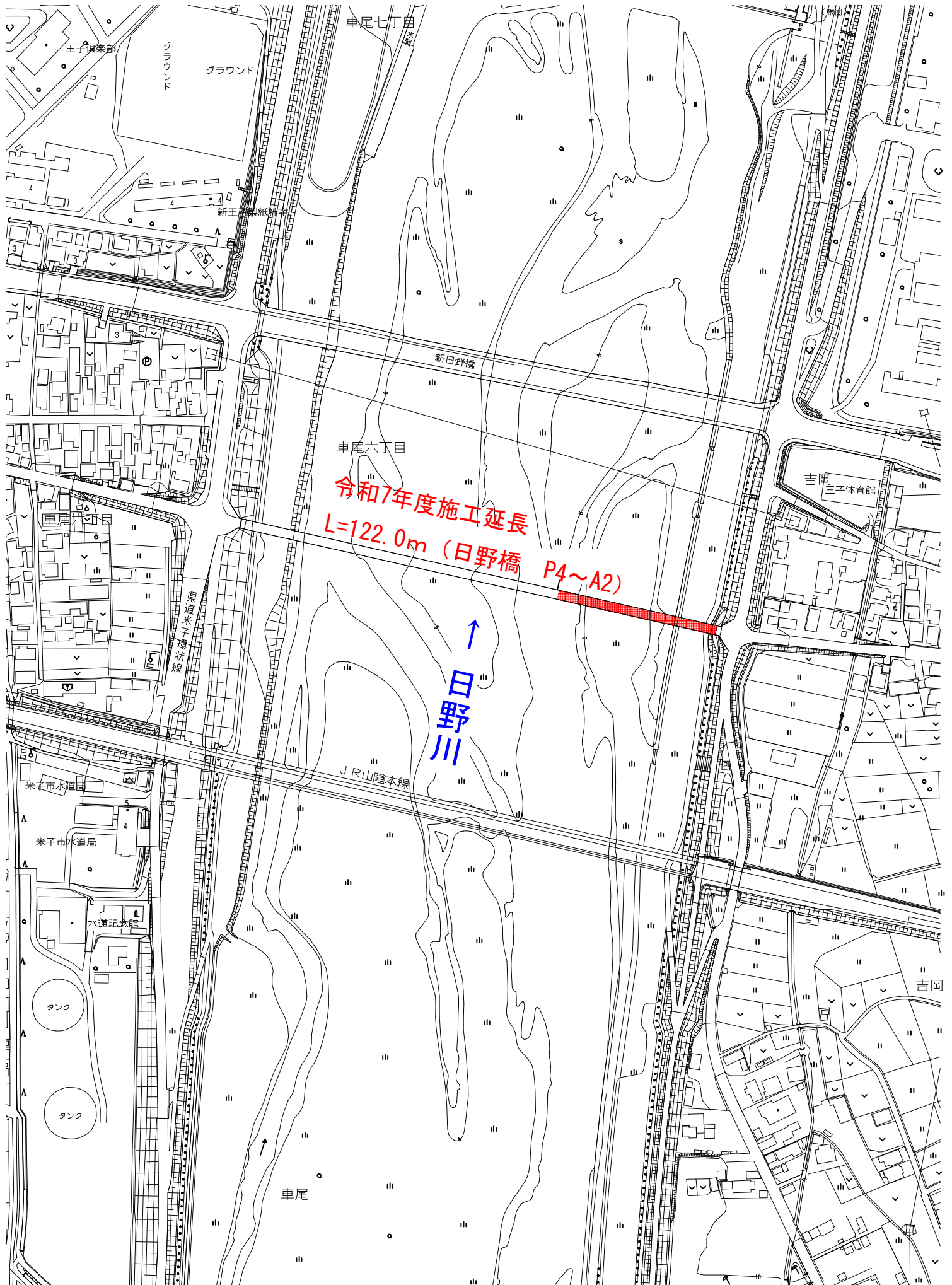


工 事 設 計 書

令和 7 年度	工事名	市道車尾日野橋熊党線日野橋橋りょう補修工事(その2)				
		部長	課長	担当課長補佐	審査	設計
設 計 金 額	円					
工 期	契約日 から 令和8年3月31日 まで					
工 事 場 所	米子市 車尾六丁目、吉岡 地内					
工 事 概 要	橋長L=366.0m 幅員W=6.8m 施工延長 L=122.0m 塗装塗替工 A=5,180m² 橋梁補修工 一式 仮設工 一式					

米 子 市

位置図



工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道車尾日野橋熊党線日野橋橋りょう補修工事(その2)					事業区分	橋りょう補修	
						工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要	
		単位	数値					
本工事費								
橋梁保全工事		式						
塗装塗替工		式						
現場塗装工		式						
	塗膜除去工	循環式オープンブラスト相当	m ²	10		5180		
	防食下地	有機ジンクリッチペイント	m ²	10		5180		
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ 樹脂塗料下塗 2層	m ²	10		5180		
	中塗り塗装	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 1層	m ²	10		5180		
	上塗り	弱溶剤ふっ素樹脂塗料 1層	m ²	10		5180		
橋梁補修工		式						
橋梁補修工		式						
	当て板補強工	補強部材取付工	m ²	1		15		
		現場孔明工	箇所	1		2224		
		リベット撤去工	本	1		44		
		高力ボルト本締め工	本	1		2268		
		芯出し調整工	m ²	1		15		
	不陸調整工	鉄バテ相当	m 3	0.1		0.8		
	FRPシート設置工	区分A 0.01m2以上0.07m2未満	m ²	1		16		
		区分B 0.07m2以上0.15m2未満	m ²	1		12		
		区分C 0.15m2以上	m ²	1		33		
	カバープレート切断・撤去工	部材切断工	m	1		480		
		部材撤去工 撤去・発生品現場内運搬	t	0.1		3.2		
橋面工補修		式						
	地覆撤去工	コンクリート構造物取壊し 鉄筋構造物	m 3	1		12		
	地覆復旧工	コンクリート打設 24-12-25BB	m 3	1		12		
		鉄筋工 SD345 D13	t	1		1		
	高欄取替工	高欄撤去・設置	m	1		244		
		スリープ管設置工	箇所	1		2		
	排水工	排水管撤去	箇所	1		2		
		排水管設置	m	1		2		

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道車尾日野橋熊覚線日野橋橋りょう補修工事(その2)					事業区分	橋りょう補修	
						工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要	
		単位	数値					
	床版補修工	はく落防止工 ポリウレアウレタン	m ²	1		67		
		表面含浸材塗布工 けい酸塩系表面含浸材塗布	m ²	1		619		
	断面修復工 (上部・下部)	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含む 修復延べ体積0.342m ³	構造物	1		1		
	ひびわれ注入工	ひび割れ補修工 エポキシ樹脂系 補修延べ延長45.1m	構造物	1		1		
運搬処理工			式					
	殻運搬	殻運搬 運搬距離9.8k m	m ³	1		13		
		現場発生品・支給品運搬4t～4.5t 級 運搬距離4.5km	t	1		3		
	スクラップ	ヘビーH1	t	1		3		
	殻処分	Co殻処分費 有筋	t	1		31		
		塗膜 PCB含有	kg	1		6,000		
		PCB含有 防護服およびフィルター等汚染物質処分	kg	1		2,616		
仮設工			式	1				

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から 20 日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成 17 年 11 月 15 日付第 200500080172 号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第 25 条第 5 項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第 26 条第 5 項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第 26 条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第 25 条」と読み替えるものとする。

契約書第 25 条第 6 項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第 25 条第 6 項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和7年6月10日改正
特記事項 1

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____	
工程	①（他工事等との調整） ②（部分完成、着工保留） ③（施工時間） ④（余裕期間設定工事） ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） ⑥（週休2日工事）	本工事については、<u>市道車尾日野橋熊党線日野橋橋りょう補修工事(その1)</u>と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること ・ しないこと）。 _____本工事_____の施工時間は、<u>8：30 ～ 17：00</u>とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市週休2日工事実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。
用地関係	①（用地・物件等未処理）	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ②（支障物件） ③（立木の置き場所）	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・調査済み]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
公害対策	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。

現場説明書

特記事項2

安全対策	① (交通安全施設等)	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数 <u>132</u> 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計 <u> </u> 名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計 <u>264</u> 名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。
排水濁水処理	① (濁水処理)	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難い場合は別途協議すること。
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 ① (他工事等流用) ② (建設技術センター) ③ (民間残土受入地) ④ (土質改良プラント) 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ⑤（分別解体等） ⑥ (他工事等流用)	建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u> 工事現場に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。 建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり円をセンターに支払うこと。 建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u> に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり <u> </u> 円を <u> </u> に支払うこと。 建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u> に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。なお、処理費として1 m³当たり <u> </u> 円を <u> </u> に支払うこと。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊1 m³当り <u>49,540</u> 円（有筋） アスファルト塊1 m²当り <u> </u> 円 [Co 雑割材・ <u> </u>]は、 <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内 <u> </u> 工事現場に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。 流用する耕作土は、現地盤から10 cmまでの表土を掘削し運搬することを想定している。石等が混入する恐れがある場合は別途監督員と協議すること。なお、運搬の時期は令和8年3月末日までを想定している。

現場説明書

特記事項3

建設副産物の処理	⑦ (再資源化施設への搬出) (施設の名称・受入れ費用) (受入れ時間帯) (受入れ条件)	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにmanifestoを発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊 (有筋) 米子 市・町・村 淀江町稲吉 地内の (株大協組) (運搬距離: 9.8 km)、費用 1t 当り 800 円 アスファルト塊 _____市・町・村_____地内の_____ (運搬距離_____km)、費用 1t 当り_____円 建設発生木材 _____市・町・村_____地内の_____ (運搬距離_____km)、費用 1t 当り_____円 その他 (塗膜・PCB 含有) 境港市・町・村潮見町地内の三光(株)潮見工場 (運搬距離 20.7 km)、費用 1 k g 当り 600 円 (運搬費含む) その他 (防護服およびフィルター等汚染物質処分) 境港市・町・村潮見町地内の三光(株)潮見工場 (運搬距離 20.7 km)、費用 1 k g 当り 850 円 (運搬費含む) 8時～17時 (平日) ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm 以下、長さ_____m以下であること。 エ 2次公害発生の恐れがある物質 (廃油等) を含まないこと。 建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出 (片道運搬距離_____km) を想定し、_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。 _____については、_____市・町・村 _____地内の産業廃棄物処理場への搬出 (片道運搬距離_____km) を想定し、その費用として1t 当たり_____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにmanifestoを発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を_____円見込んでいる。
建設副産物の使用	① (建設発生土の使用) ② (再生資材の使用)	_____工事から [当該工事運搬・相手方運搬] の建設発生土を受入れ、使用箇所: _____に使用する。 1) C o 雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所: _____に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____工事から運搬し、使用箇所: _____に使用する。 3) ・再生クラッシャーラン [規格: _____] は、使用箇所: _____に使用する。 ・再生コンクリート砂 [規格: R S - _____] は、使用箇所: _____に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物 [規格: _____] は、使用箇所: _____に使用する。 5) その他再生資材 [資材名: _____] [規格: _____] は、使用箇所: _____に使用する。

現場説明書

特記事項 4

工事用道路	①（農地の一時転用について）	本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。											
	② （農地の賃貸借）	ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村_____番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「米子市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は米子市が有することとし、原状復旧の責は米子市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。											
その他	①（労災補償に必要な保険の付保）	本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。											
	②（現場環境改善）	本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。 1 内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。 <table><tr><th>計上費目</th><th>実施内容</th></tr><tr><td>仮設備関係</td><td>1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減</td></tr><tr><td>営繕関係</td><td>1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td></tr><tr><td>安全関係</td><td>1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策</td></tr><tr><td>地域連携</td><td>1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献</td></tr><tr><td>防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）</td><td>1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）</td></tr></table>	計上費目	実施内容	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策	地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献	防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）
計上費目	実施内容												
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減												
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等												
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策												
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献												
防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）												
	③（スクラップ費について）	橋梁補修工に伴うスクラップ費については、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の対象額に含めない。なお、スクラップ費は、建設物価2025.7.P794 鉄へビーH1を見込んでいる。											

④（電子納品）	本工事は電子納品対象工事とすることができる。 電子納品に当たっては、https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という）に従い適正に納品すること。 ただし、電子納品を行う場合は、実施前に監督員と協議を行うこと。
⑤（情報共有システム）	本工事は情報共有システム対象工事とすることができる。 情報共有システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。 ただし、情報共有システム利用を行う場合は、実施前に監督員と協議を行うこと。
⑥（熱中症対策）	熱中症対策について https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。また、気象庁から高温注意報（最高気温35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。
⑦（工事特性）	本工事は、PCB特措法において定められている低濃度PCB廃棄物処理期限（令和9年3月31日）までに塗膜に含まれるPCBの処分を確実に行うための作業を含むものである
⑧（近接調査計測工について）	補修設計に当たり第1径間の代表部材のみを対象とした詳細調査を実施している。補修工事時にあたり、足場設置時に工事対象箇所全体の詳細調査を実施すること。
⑨（補修内容・数量について）	⑦（近接調査計測工について）の調査結果を踏まえ、補修要領図を基に補修計画を行い、監督職員と協議の上、全体の補修内容・数量を確定させること。
⑩（塗膜除去工について）	本橋の塗膜にはPCB、鉛を含有している。塗膜除去により発生した塗膜くずについてはポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（環境省）や厚労省通達「鉛中毒予防規則等の「含鉛塗料」の適用について」（基安化発0730第1号（平成30年7月30日））等に準じ、飛散防止対策を十分に行うこと。塗膜くずおよび防護服や各種フィルター等も有害物質に汚染されているため適切に処理すること。塗膜除去に使用した機材、切削材については現場搬出前に清掃、洗浄を行ったうえで汚染物質の成分試験を行い、基準値を下回ることを監督職員に確認した上で現場から移動を行うこと。
⑪（鋼部材の補修について）	主要部材と定義した主構トラス部材および横桁、縦桁に関しては、損傷度合いに応じて部材の補強を行うが、その他の部材についても著しい損傷が発見された場合においては、監督職員と協議の上、補修内容を決定すること。ガセットPLの孔食が著しく美観を損なう場合にはFRPシート等で穴埋めを行うこと。また、ボルトの緩み・抜け落ちが確認された場合は、必要に応じてボルトの取替等を行うこと。
⑫（床版の補修について）	施工前の損傷状況、形状寸法調査により監督職員と協議の上、補修要領図を基に補修内容を選択し、補修寸法等を確定させること。補修内容鋼板接着範囲は床版補修工の対象から除外し塗装塗替えを行うこととする。表面含侵工及びはく落防止工前に、コンクリートのひび割れ・浮き・剥離等の損傷を確認・特定し、有害な損傷は修復した上で表面保護・剥落防止を行うこと。

※明示する項目を_____部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他 ()					
工事の種類		☐ 新築工事 ☒ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 その他 ()					
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☐ アスファルト・コンクリート ☐ 木材					
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 96 年 その他 ()					
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他 () 敷地境界との最短距離 約 40 m その他 ()					
工作物に関する調査及び工事着手前に実施する措置の内容			工作物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容		
	作業場所		作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他 ()				
	搬出経路		障害物 ☐ 有 () ☐ 無 前面道路の幅員 約 8 m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他 ()				
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)		☐ 有 () ☒ 無				
	他法令関係(解体・維持・修繕工事のみ)	石綿(大気汚染防止法・安全衛生法石綿)	☐ 有 () 特定建設資材への付着(☐ 有 ☐ 無) ☒ 無				
	その他						
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程		作業内容		分別解体等の方法 (解体工事のみ)		
	① 仮設		仮設工事 ☐ 有 ☒ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用		
	② 土工		土工事 ☐ 有 ☒ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用		
	③ 基礎		基礎工事 ☐ 有 ☒ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用		
	④ 本体構造		本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用		
	⑤ 本体付属品		本体付属品の工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用		
	⑥ その他 ()		その他の工事 ☐ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用		
工事の工程の順序 (解体工事のみ)			☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他 () その他の場合の理由 ()				
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)			トン				
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)		種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)		
			☒ コンクリート塊	31 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③	☒ ④ ☒ ⑤ ☐ ⑥	
			☐ アスファルト・コンクリート塊	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③	☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	
			☐ 建設発生木材	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③	☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	
			(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他				
備考							

□欄には、該当箇所をチェックを入れること。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 当初 07-*****-00003-10 0 1 実施単価 30 米子市 00-07.07.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 緊急工事 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 02 率計上する（市街地） 11 市街地(DID補正) 00 通常工事 0% 01 金銭保証（0.04%） 01 豪雪割増あり 01 算出する 13 完全週休2日				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
橋梁保全工事										Y1G03	(1^ 1)
					一式						
塗装塗替工										Y2999	(1^ 2)
					一式						
現場塗装工										Y3999	(1^ 3)
					一式						
塗膜除去工										Y4999	(1^ 4)
					一式						
塗膜除去工 循環式オープンブラスト工法 相当										V0002	00
		5,180		m ²						単第0 -0001 表	070710
環境資機材費										V0005	00
		1		一式						単第0 -0003 表	070710
PCB対応消耗品										V0006	00
		1		一式						単第0 -0004 表	070710
防食下地										Y1G03250101	(1^ 4)
				m2							

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	塗替塗装 下塗り塗装									SDT00029 00 A=1,B=4,D=4,F=2,H=5,I=1	
		5,180		m2						単第0 -0005 表	070710
下塗										Y1G03250102 (1^ 14)	
				m2							
	塗替塗装 下塗り塗装									SDT00029 00 A=1,B=4,D=2,F=2,H=5,I=1	
		5,180		m2						単第0 -0006 表	070710
中塗										Y1G03250103 (1^ 14)	
				m2							
	塗替塗装 中塗り塗装									SDT00029 00 A=1,B=5,E=2,F=2,G=2,H=5,I=1	
		5,180		m2						単第0 -0007 表	070710
上塗										Y1G03250104 (1^ 14)	
				m2							
	塗替塗装 上塗り塗装									SDT00029 00 A=1,B=6,E=3,F=2,G=2,H=5,I=1	
		5,180		m2						単第0 -0008 表	070710
橋梁補修工										Y2999 (1^ 12)	
				一式							
橋梁補修工										Y3999 (1^ 13)	
				一式							

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
当て板補強工						Y4999 (14) (14)
			一式			
補強部材取付工						V0008 00
見積り	15	m ²				単第0 -0009 表 070710
鋼桁孔明工						V0013 00
見積り	2,224	箇所				単第0 -0010 表 070710
リベット撤去工						V0011 00
見積り	44	本				単第0 -0011 表 070710
高力ボルト本締工						V0012 00
見積り	2,268	本				単第0 -0012 表 070710
芯出し調整工						V0009 00
見積り	15	m ²				単第0 -0013 表 070710
当て板補強工材料						V0015 00
見積り	1	一式				単第0 -0014 表 070710
不陸調整工						Y4999 (14) (14)
			一式			
不陸整正工						V0014 00
見積り	0.8	m ³				単第0 -0015 表 070710

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
FRPシート補修工						Y4999 (レベル4)
			一式			
紫外線硬化型FRPシート設置工(ポ リエステル樹脂) 区分A						V0016 00
	16	m ²				単第0 -0016 表 070710
紫外線硬化型FRPシート設置工(ポ リエステル樹脂) 区分B						V0017 00
	12	m ²				単第0 -0017 表 070710
紫外線硬化型FRPシート設置工(ポ リエステル樹脂) 区分C						V0018 00
	33	m ²				単第0 -0018 表 070710
カバープレート切断・撤去工						Y4999 (レベル4)
			一式			
切断切削仕上げ工						V0019 00
	480	m				単第0 -0019 表 070710
見積り 既設部材撤去工						V0020 00
	3.2	t				単第0 -0020 表 070710
見積り 現場発生品運搬						V0021 00
	3.2	t				単第0 -0021 表 070710
見積り 橋面工補修						Y3999 (レベル3)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地覆撤去工					Y4999 (1^ 14)
		一式			
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 人力施工					SDT00033 00 A=1,B=2,D=1
	12	m3			単第0 -0022 表 070710
地覆復旧工					Y4999 (1^ 14)
		一式			
コンクリート打設 1日当り打設量_10m3未満 -					S2030085 00 A=1,B=1,C=5,D=10,E=2
	12	m3			単第0 -0023 表 070710
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物					SPK24040155 00 A=1,B=1,C=1
	98	m2			単第0 -0024 表 070710
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満					SS000099 00 A=1,B=5,D=1,E=1,F=2,H=1,I=1,J=1,K=1
	1	t			単第0 -0025 表 070710
高欄撤去・取替工					Y4999 (1^ 14)
		一式			
高欄撤去工					V0022 00
	244	m			単第0 -0026 表 070710
見積り アンカー撤去工					V0023 00
	248	箇所			単第0 -0027 表 070710

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
高欄設置工						V0024 00
見積り	244	m				単第0 -0028 表 070710
スリーブ管設置工						V0025 00
見積り	2	箇所				単第0 -0029 表 070710
アンカー設置工						V0026 00
見積り	248	箇所				単第0 -0030 表 070710
地覆復旧工材料						V0027 00
見積り	1	一式				単第0 -0031 表 070710
排水工						Y4999 (レベル4)
		一式				
既設排水装置撤去工						V0028 00
見積り	2	箇所				単第0 -0032 表 070710
支持金具撤去工						V0029 00
見積り	2	箇所				単第0 -0033 表 070710
排水管設置工						V0030 00
見積り	2	m				単第0 -0034 表 070710
排水管設置工材料						V0031 00
見積り	1	一式				単第0 -0035 表 070710

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床版補修工					Y4999 (1^ 14)
		一式			
剥落防止工					V0032 00
見積り	67	m ²			単第0 -0036 表 070710
表面含浸材塗布工					V0033 00
見積り	619	m ²			単第0 -0037 表 070710
断面修復工					Y4999 (1^ 14)
		一式			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0. 3 4 2m3					S1020041 00 A=0.342,B=5,C=0.342
	1	構造物			単第0 -0038 表 070710
ひびわれ補修工					Y4999 (1^ 14)
		一式			
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長4 5. 1m					S1020037 00 A=45.1,B=1,C=4.06,D=2,E=4.6,F=3,G=151
	1	構造物			単第0 -0039 表 070710
運搬処理工					Y3999 (1^ 13)
		一式			
殻運搬					Y4999 (1^ 14)
		一式			

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	13	m3			SPK24040151 00 A=2,B=1,C=2,D=44,E=1 単第0 -0040 表 070710
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT4～4.5t級2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)	3	t			SPK24040410 00 A=2,B=2,C=5 単第0 -0041 表 070710
スクラップ					Y4999 (レベル4)
スクラップ 鉄くず ヘビー H1	3	t			TTU0052 00 070710 8
殻処分					Y4999 (レベル4)
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分費 コンクリート殻 鉄筋 (株)大協組	31	t			TTV0430 00 070710
処分費 塗膜(廃プラ)、PCB含有 運搬費込み、三光(株) 見積り	6,000	kg			W0001
処分費 防護服およびフィルター等汚染物質処分 運搬費込み、三光(株) 見積り	2,616	kg			W0001

本工事費 内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工							Y1G0328 (レベル2)
				一式			
仮足場工							Y3900 (レベル3)
				一式			
足場							Y4900 (レベル4)
				m2			
	側面足場設置工（外面）						V0034 00
	見積り	4,860	掛	m ²			単第0 -0042 表 070710
	吊り足場設置工（下面）						V0037 00
	見積り	1,070		m ²			単第0 -0043 表 070710
	側面足場シート防護設置工（外面）						V0038 00
	見積り	5,930	掛	m ²			単第0 -0044 表 070710
	側面足場板張り防護設置工（外面）						V0040 00
	見積り	4,860	掛	m ²			単第0 -0045 表 070710
	吊り足場シート防護設置工（下面）						V0043 00
	見積り	1,070		m ²			単第0 -0046 表 070710
	吊り足場板張り防護設置工（上面）						V0044 00
	見積り	660		m ²			単第0 -0047 表 070710

本工事費 内訳書

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
足場工材料						V0046 00
見積り	1		一式			単第0 -0048 表 070710
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場						S0380 00
手摺先行型枠組足場						A=1,B=2
安全ネット設置	450		掛m2			単第0 -0049 表 070710
交通管理工						Y1G032821 (レベル3)
			一式			
交通誘導警備員						Y1G03282101 (レベル4)
			人			
交通誘導警備員B						R0369 00
	264		人			070710 1
※※直接工事費※※						
技術管理費						Z0006
近接調査計測工						V0001 00
	2		径間			単第0 -0050 表 070710
PCB対応試験費						V2006 00
	1		一式			単第0 -0051 表 070710

本工事費 内訳書

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
安全費						Z0009
安全衛生保護具						V0004 00
	1		一式			単第0 -0052 表 070710
現場環境改善費						Z0012
共通仮設費						
※※共通仮設費計※※						
※※純工事費※※						
現場管理費						
※※工事原価※※						
一般管理費率分						

本工事費 内訳書

頁0-0013

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
契約保証費							
一般管理費計							
工事価格							
消費税相当額							
工事費計							

塗膜除去工
循環式オープンプラスト工法 相当

V0002

施 工 単 価 表

単第0 -0001 表

頁0-0014

1,000

m²

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役	14.5	人			RTPC00021
橋梁塗装工	87.0	人			R0230
普通作業員	29.0	人			RTPC00002
機械器具損料費 循環式オープンプラスト工法 相当	1,000	m ²			V0003 単第0-0002 表
スチールグリット 金属系研削材	1,500	k g			W0001 見積り
全体割増		式			+00
*** 合計 ***	1,000	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施 工 単 価 表

V0003

単第0 -0002 表

1,000 m² 当り

機械器具損料費
循環式オープンブラスト工法 相当

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ブラストマシン損料	14.5	日			W0001 見積り
ダストコレクター損料	14.5	日			W0001 見積り
ブラストマシン整備費 研削材再生処理共	1	一式			W0001 見積り
空気圧縮機機械賃料 排出ガス対策型 週休二日補正	14.5	日			W0001 見積り
発動発電機機械賃料 排出ガス対策型 週休二日補正	14.5	日			W0001 見積り
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	3,350	L			TTPC00013
雑費	1	一式			W0001 見積り
*** 合計 ***	1,000	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉛対応集塵機装置賃料 160m3/min 4週8休以上	3.7	台・月			W0001 見積り
鉛対応集塵機プレフィルター 500m2/3本	30	本			W0001 見積り
チャコールフィルター	15	本			W0001 見積り
HEPAフィルター	6	本			W0001 見積り
エアシャワー賃料 SS-AS-10T 4週8休以上	1.85	台・月			W0001 見積り
エアシャワー用1次フィルター	30	枚			W0001 見積り
エアシャワー用HEPAフィルター	6	枚			W0001 見積り
クリーンルーム 簡易セキュリティルーム	1	箇所			W0001 見積り
真空掃除機賃料 1台 4週8休以上	1.85	月			W0001 見積り
真空掃除機用ダストパック	20	枚			W0001 見積り
真空掃除機用1次フィルター	5	枚			W0001 見積り
真空掃除機用2次フィルター	3	枚			W0001 見積り

施 工 単 価 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
真空掃除機用HEPAフィルター	1	個			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	一式			

施 工 単 価 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
集塵機フィルタ PCB対応	14	本			W0001 見積り
ブラストホース 20m/本	40	本			W0001 見積り
バキュームホース 20m/本	20	本			W0001 見積り
接続ホース	2	本			W0001 見積り
普通作業員	6	人			RTPC00002
洗浄用溶剤 16L	3	本			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	一式			

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

施 工 単 価 表

単第0 -0005 表

頁0-0019

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_塗替塗装【材工共】 下塗り_有機ジングリッチペイント(1層) スプレー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001099
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 D=4 有機ジンクリッチペイント(1層) H=5 弦材を有する構造			B=4 下塗り塗装 F=2 スプレー I=1 時間的制約なし		

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

施 工 単 価 表

単第0 -0006 表

頁0-0020

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_塗替塗装【材工共】 下塗り_弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層) スプレー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001075
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 D=2 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層) H=5 弦材を有する構造			B=4 下塗り塗装 F=2 スプレー I=1 時間的制約なし		

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

施 工 単 価 表

単第0 -0007 表

頁0-0021

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_塗替塗装【材工共】 中塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用_淡彩 スプレー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001147
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 E=2 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 G=2 淡彩 I=1 時間的制約なし			B=5 中塗り塗装 F=2 スプレー H=5 弦材を有する構造		

塗替塗装
上塗り塗装

SDT00029

施工単価表

単第0 -0008 表

頁0-0022

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_塗替塗装【材工共】 上塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料_淡彩 スプレー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001201
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 E=3 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 G=2 淡彩 I=1 時間的制約なし			B=6 上塗り塗装 F=2 スプレー H=5 弦材を有する構造		

補強部材取付工

V0008

施 工 単 価 表

単第0 -0009 表

頁0-0023

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役	4.0	人			RTPC00021 1
橋りょう特殊工	16.0	人			RTPC00020 1
普通作業員	8.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	24	%			#01
*** 合計 ***	20	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

鋼桁孔明工

V0013

施 工 単 価 表

単第0 -0010 表

頁0-0024

見積り

2,500

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役	17.0	人			RTPC00021 1
橋りょう特殊工	51.0	人			RTPC00020 1
普通作業員	17.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	24	%			#01
*** 合計 ***	2,500	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

リベット撤去工

V0011

施 工 単 価 表

単第0 -0011 表

頁0-0025

見積り

100

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役	1.5	人			RTPC00021 1
橋りょう特殊工	7.5	人			RTPC00020 1
普通作業員	1.5	人			RTPC00002 1
諸雑費	24	%			#01
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

高力ボルト本締工

V0012

施 工 単 価 表

単第0 -0012 表

頁0-0026

見積り

2,800

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役	12.5	人			RTPC00021 1
橋りょう特殊工	37.5	人			RTPC00020 1
普通作業員	12.5	人			RTPC00002 1
諸雑費	24	%			#01
*** 合計 ***	2,800	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

芯出し調整工

V0009

施 工 単 価 表

単第0 -0013 表

頁0-0027

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役	2.0	人			RTPC00021 1
橋りょう特殊工	8.0	人			RTPC00020 1
普通作業員	12.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	24	%			#01
*** 合計 ***	20	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

当て板補強工材料

V0015

施 工 単 価 表

単第0 -0014 表

頁0-0028

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
当て板鋼板PL t=8mm	1,315	k g			W0001 見積り 1
トルシア形高力ボルト S10T M22×60	2,268	本			W0001 見積り 1
諸雑費	24	%			#01
*** 単位当たり ***	1	一式			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	見 積 り 単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	25.0	人			RTPC00009 1
特殊作業員	100.0	人			RTPC00001 1
普通作業員	50.0	人			RTPC00002 1
接着剤 エポキシ樹脂系 アルファテック435相当	1,610	k g			W0001 建設物価2025.7 P192
諸雑費	10	%			#01
*** 単位当たり ***	1	m 3			

紫外線硬化型FRPシート設置工(ポリエステル樹脂)
区分A

V0016

施工単価表

単第0 -0016 表

頁0-0030

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
紫外線硬化型FRPシート設置工(紫外線照射有) 制約無 区分A 高所無 完全週休2日	1	m ²			W0001 土木コスト情報2025.7 P493×補正係数1.01
*** 単位当たり ***	1	m ²			

紫外線硬化型FRPシート設置工(ポリエステル樹脂)
区分B

V0017

施 工 単 価 表

単第0 -0017 表

頁0-0031

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
紫外線硬化型FRPシート設置工(紫外線照射有) 制約無 区分B 高所無 完全週休2日	1	m ²			W0001 土木コスト情報2025.7 P493×補正係数1.01
*** 単位当たり ***	1	m ²			

紫外線硬化型FRPシート設置工(ポリエステル樹脂)
区分C

V0018

施工単価表

単第0 -0018 表

頁0-0032

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
紫外線硬化型FRPシート設置工(紫外線照射有) 制約無 区分C 高所無 完全週休2日	1	m ²			W0001 土木コスト情報2025.7 P493×補正係数1.01
*** 単位当たり ***	1	m ²			

切断切削仕上げ工

V0019

施 工 単 価 表

単第0 -0019 表

頁0-0033

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役	18.0	人			RTPC00021 1
橋りょう特殊工	48.6	人			RTPC00020 1
諸雑費	15	%			#01
*** 合計 ***	450	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

既設部材撤去工

V0020

施 工 単 価 表

単第0 -0020 表

頁0-0034

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役	2.31	人			RTPC00021 1
橋りょう特殊工	9.24	人			RTPC00020 1
普通作業員	2.31	人			RTPC00002 1
諸雑費	15	%			#01
*** 合計 ***	3	t			
*** 単位当たり ***	1	t			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう特殊工	1.0	人			RTPC00020 1
普通作業員	1.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	15	%			#01
*** 合計 ***	3	t			
*** 単位当たり ***	1	t			

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)
人力施工

SDT00033

施 工 単 価 表

単第0 -0022 表

頁0-0036

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001579
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 D=1 時間的制約なし			B=2 人力施工		

施 工 単 価 表

S2030085

単第0 -0023 表

コンクリート打設
1日当り打設量_10m3未満

100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.200	人			RTPC00009
特殊作業員	7.400	人			RTPC00001
普通作業員	7.700	人			RTPC00002
生コンクリート 24-12-25 (20) 高炉	104.000	m 3			F0000000010
生コンクリート小型車割増額	104.000	m 3			TTPCD9901
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊 オペレータ付	2.800	日			KTPC00014
諸雑費	11	%			長期割引適用外 #09
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 1日当り打設量_10m3未満 C=5 コンクリート(各種) E=2 小型車割増有			B=1 - D=10 【F】 コンクリート(m3)		
コンクリートの使用数量 = 設計量(m3)*(1+ロス率) = 100*(1+0.04) = 104.000(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

SPK24040155

単第0 -0024 表

型枠
一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施 工 単 価 表

単第0 -0025 表

SS000099

一般構造物 [規]10t未満

鉄筋工
SD345_D13

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 加工・組立共	1.000	t			TSPC00001
異形棒鋼 SD345 D13	1.030	t			TTPC00001 1*1.03
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=2 [規]10t未満			B=5 SD345_D13 E=1 - H=1 -		
I=1 - K=1 -			J=1 -		

高欄撤去工

V0022

施 工 単 価 表

単第0 -0026 表

頁0-0040

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	4.0	人			RTPC00009 1
特殊作業員	8.0	人			RTPC00001 1
普通作業員	8.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	15	%			#01
*** 合計 ***	200	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

アンカー撤去工

V0023

施 工 単 価 表

単第0 -0027 表

頁0-0041

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.0	人			RTPC00009 1
特殊作業員	6.0	人			RTPC00001 1
普通作業員	3.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	15	%			#01
*** 合計 ***	150	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

高欄設置工

V0024

施 工 単 価 表

単第0 -0028 表

頁0-0042

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	8.0	人			RTPC00009 1
特殊作業員	16.0	人			RTPC00001 1
普通作業員	16.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	15	%			#01
*** 合計 ***	250	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

スリーブ管設置工

V0025

施 工 単 価 表

単第0 -0029 表

頁0-0043

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009 1
特殊作業員	4.0	人			RTPC00001 1
普通作業員	2.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	15	%			#01
*** 合計 ***	6	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

アンカー設置工

V0026

施 工 単 価 表

単第0 -0030 表

頁0-0044

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.0	人			RTPC00009 1
特殊作業員	6.0	人			RTPC00001 1
普通作業員	3.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	15	%			#01
*** 合計 ***	150	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スリーブ管 Φ67.5×350 STK400	2	本			W0001 見積り 1
スリーブ管 Φ128×350 STK400	2	本			W0001 見積り 1
スリーブ管 Φ80×350 STK400	2	本			W0001 見積り 1
高欄アンカー M22×350 SD295	248	本			W0001 見積り 1
高欄アンカー M22×250 SD295	248	本			W0001 見積り 1
諸雑費	15	%			#01
*** 単位当たり ***	1	一式			

既設排水装置撤去工

V0028

施 工 単 価 表

単第0 -0032 表

頁0-0046

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009 1
特殊作業員	2.0	人			RTPC00001 1
普通作業員	2.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	2	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

支持金具撤去工

V0029

施 工 単 価 表

単第0 -0033 表

頁0-0047

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			RTPC00009 1
特殊作業員	1.0	人			RTPC00001 1
普通作業員	1.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	2	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			RTPC00009 1
特殊作業員	1.0	人			RTPC00001 1
普通作業員	1.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	2	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
VP管 φ150	1.6	m			W0001 見積り 1
支持金具 VP立バンド	1	箇所			W0001 見積り 1
諸雑費	10	%			#01
*** 単位当たり ***	1	一式			

剥落防止工

V0032

施 工 単 価 表

単第0 -0036 表

頁0-0050

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.0	人			RTPC00009 1
特殊作業員	12.0	人			RTPC00001 1
普通作業員	6.0	人			RTPC00002 1
ボンドKEEPメンテ工法VMクリア相当	100	m ²			W0001 見積り 1
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	7.0	人			RTPC00009 1
特殊作業員	14.0	人			RTPC00001 1
普通作業員	14.0	人			RTPC00002 1
けい酸塩系表面含浸材CS-21ネオ相当	700	m ²			W0001 見積り 1
諸雑費	12	%			#01
*** 合計 ***	700	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施 工 単 価 表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積 0.342 m3

単第0 -0038 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	7.866	人			RTPC00009
特殊作業員	12.996	人			RTPC00001
普通作業員	8.550	人			RTPC00002
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.404	m3			F000000005
諸雑費	11	%			県単価 #09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.342 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.342 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=5	【F】断面修復材(m3)	
土木一般世話役 = $V / 0.1 * D2 = 0.342000000 / 0.1 * 2.3 = 7.866$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.342000000 / 0.1 * 3.8 = 12.996$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.342000000 / 0.1 * 2.5 = 8.550$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = $0.342000000 * (1 + 0.18) = 0.404$ (m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長45.1m

S1020037

単第0 -0039 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.616	人			RTPC00009
特殊作業員	4.330	人			RTPC00001
普通作業員	3.202	人			RTPC00002
土木補修用エポキシ樹脂注入材 1種	4.060	kg			F0000000001
シール材	6.302	kg			F0000000002
低圧注入器具	151.000	個			F0000000003
諸雑費	6	%			見積り #09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=45.1 1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) C=4.06 注入材の必要数量(kg/構造物) E=4.6 シール材の設計数量(kg/構造物) G=151 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)			B=1 【F】 注入材(kg) D=2 【F】 シール材(kg) F=3 【F】 低圧注入器具(個)		
土木一般世話役 = $L / 10 * D2 = 45.100000000 / 10 * 0.58 = 2.616$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $L / 10 * D2 = 45.100000000 / 10 * 0.96 = 4.330$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = $L / 10 * D2 = 45.100000000 / 10 * 0.71 = 3.202$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率) = $4.600000000 * (1 + 0.37) = 6.302$ (kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施工単価表

殻運搬

Co(鉄筋)構造物とりこわし

機械構成比： 41.69% 労務構成比： 43.88%

SPK24040151

DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

材料構成比： 14.43%

単第0 -0040 表

1

m3 当り

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT4～4.5t級2.9t吊

SPK24040410
片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)

単第0 -0041 表

1

t 当り

機械構成比： 17.08% 労務構成比： 79.03% 材料構成比： 3.89% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	17.08%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t級吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
特殊運転手	40.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	38.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	3.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 クレーン装置付BT4～4.5t級2.9t吊 C=5 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)			B=2 DID区間有り		

側面足場設置工（外面）

V0034

施 工 単 価 表

単第0 -0042 表

頁0-0056

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.02	人			RTPC00009 1
特殊作業員	0.08	人			RTPC00001 1
普通作業員	0.06	人			RTPC00002 1
諸雑費	8	%			#01
*** 単位当たり ***	1	掛㎡			

吊り足場設置工（下面）

V0037

施 工 単 価 表

単第0 -0043 表

頁0-0057

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.04	人			RTPC00009 1
特殊作業員	0.16	人			RTPC00001 1
普通作業員	0.12	人			RTPC00002 1
諸雑費	8	%			#01
*** 単位当たり ***	1	m ²			

側面足場シート防護設置工（外面）

V0038

施 工 単 価 表

単第0 -0044 表

頁0-0058

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.01	人			RTPC00009 1
特殊作業員	0.02	人			RTPC00001 1
普通作業員	0.01	人			RTPC00002 1
諸雑費	8	%			#01
*** 単位当たり ***	1	掛㎡			

側面足場板張り防護設置工（外面）

V0040

施 工 単 価 表

単第0 -0045 表

頁0-0059

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.02	人			RTPC00009 1
特殊作業員	0.04	人			RTPC00001 1
普通作業員	0.02	人			RTPC00002 1
諸雑費	8	%			#01
*** 単位当たり ***	1	掛㎡			

吊り足場シート防護設置工（下面）

V0043

施 工 単 価 表

単第0 -0046 表

頁0-0060

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.01	人			RTPC00009 1
特殊作業員	0.02	人			RTPC00001 1
普通作業員	0.01	人			RTPC00002 1
諸雑費	8	%			#01
*** 単位当たり ***	1	m ²			

吊り足場板張り防護設置工（上面）

V0044

施 工 単 価 表

単第0 -0047 表

頁0-0061

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.02	人			RTPC00009 1
特殊作業員	0.04	人			RTPC00001 1
普通作業員	0.02	人			RTPC00002 1
諸雑費	8	%			#01
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側面足場（外面）	4,860	掛㎡/日			W0001 見積り 1
吊り足場（下面）	1,070	㎡/日			W0001 見積り 1
側面足場シート防護（外面）	5,930	掛㎡/日			W0001 見積り 1
吊り足場シート防護（下面）	1,070	㎡/日			W0001 見積り 1
吊り足場板張り防護（上面）	660	㎡/日			W0001 見積り 1
諸雑費	8	%			#01
*** 単位当たり ***	1	一式			

施 工 単 価 表

頁0-0063

手摺先行型桝組・単管・単管傾斜足場
手摺先行型桝組足場

S0380
安全ネット設置

単第0 -0049 表

100 掛m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.600	人			RTPC00009 9
とび工	8.500	人			RTPC00004 安全ネット設置含む 9
普通作業員	1.300	人			RTPC00002 9
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊 オペレータ付	1.400	日			KTPC00014 長期割引適用外 9
諸雑費	31	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=1 手摺先行型桝組足場 C=0 潮待割増			B=2 安全ネットを設置する		
潮待作業割増なし					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師 (B)	0.5	人			R0000041 1
技師 (C)	0.5	人			R0000043 1
技師 (D) (技術員)	1	人			R0000045 1
諸雑費	5	%			#01
*** 単位当たり ***	1	径間			

PCB対応試験費

V2006

施 工 単 価 表

単第0 -0051 表

頁0-0065

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
PCB拭き取り含有量試験	6	検体			W0001 見積り
研削材含有量試験費	4	検体			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	一式			

施工単価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
エアライン化学防護服 2着/日 16人/班	1,184	着			W0001 見積り
定置式ろ過筒（4人用） ろ過フィルター含む	4	台			W0001 見積り
エアラインホース φ9 L=20m 16人分	16	本			W0001 見積り
防塵マスク タイプRL2-2相当 16人/班	16	個			W0001 見積り
防塵マスク用フィルター 37日×1個/人	592	個			W0001 見積り
防護手袋 37日×2組/人	1,184	組			W0001 見積り
防護長靴 16人分	16	足			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	一式			

1. 数量総括表

工種	細別	規格	単位	数量				備考
				P4	P5	A2	合計	
				P4-P5		P5-A2		
塗装塗替工								
	現場塗装工	Rc- I	m2					
	塗膜除去工	循環式オープンブラスト	m2	2605. 0	2574. 6	5179. 6		
	防食下地	有機 ジンクリッチペイント	m2	2605. 0	2574. 6	5179. 6		
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ 樹脂塗料下塗 2層	m2	2605. 0	2574. 6	5179. 6		
	中塗り塗装	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 1層	m2	2605. 0	2574. 6	5179. 6		
	上塗り	弱溶剤ふっ素樹脂塗料 1層	m2	2605. 0	2574. 6	5179. 6		
上部工補修								
	当て板補強工							
	鋼材	製作加工 PL(SS400) t=8	t	0. 667	0. 648	1. 315		
	高力ボルト	TCB S10T M22×60	本	1146	1122	2268		
	部材取付	総重量	t	0. 667	0. 648	1. 315		
		部材数	個	77	76	153		
	現場孔明工	φ 24. 5	箇所	1124	1100	2224		
	リベット撤去工		本	22	22	44		
	高力ボルト本締め工		本	1146	1122	2268		
	ピンテール仕上げ		本	1146	1122	2268		
	補強部材取付工・芯出し調整工		m2	7. 5	7. 2	14. 7		
	不陸調整工	不陸調整		2. 2	2. 1	4. 3		
		鉄パテ		0. 012	0. 011	0. 023		
	不陸調整工							
	不陸調整		m2	84. 3	84. 5	168. 8		
	鉄パテ		m3	0. 408	0. 408	0. 815		
FRPシート補修工								
	FRPシート設置工	区分A 0. 01m2以上0. 07m2未満	m2	7. 9	7. 6	15. 5		
		区分B 0. 07m2以上0. 15m2未満	m2	6. 5	5. 9	12. 4		
		区分C 0. 15m2以上	m2	17. 8	15. 3	33. 1		
カバープレート切断・撤去工								
	部材切断工		m	240. 0	240. 0	480. 0		
	部材撤去工		t	1. 62	1. 62	3. 238		

工種	細別	規格	単位	数量			備考	
				P4	P5	A2		合計
				P4-P5		P5-A2		
橋面工補修								
地覆撤去工								
	地覆撤去工	殻運搬処分	鉄筋構造物	m3	6.1	6.1	12.2	
		殻運搬処分	鉄筋構造物	t	15.250	15.250	30.500	
	高欄アンカー撤去工		M22x350	t	0.146	0.146	0.292	
			M22x250	t	0.083	0.083	0.166	
地覆復旧工								
	コンクリート工			m3	6.1	6.1	12.2	
	型枠工			m2	48.8	48.8	97.6	
	鉄筋工	SD345	D13	t	0.438	0.438	0.876	
	高欄アンカー設置工		M22x350	本	124	124	248	
				t	0.146	0.146	0.292	
			M22x250	本	124	124	248	
				t	0.083	0.083	0.166	
	アンカー削孔工		φ32x110	本	124	124	248	
				m	13.64	13.64	27.28	
	エポキシ樹脂充填			m3	0.006	0.006	0.012	
	高欄撤去・取替工		鋼製高欄撤去	m	122.0	122.0	244.0	
				t	4.697	4.697	9.394	
			鋼製高欄復旧	m	122.0	122.0	244.0	
				t	4.697	4.697	9.394	
			伸縮継手撤去	m	2.1	-	2.1	
				t	0.016	-	0.016	
			伸縮継手復旧	m	2.1	-	2.1	
				t	0.016	-	0.0	
排水工								
	排水管		VP-150 L=1.6m	個	1	1	2	
	支持金具			箇所	1	1	2	
				t	0.005	0.005	0.010	
	溶接			箇所	1	1	2	
				m	0.560	0.560	1.120	
床版補修工								
	はく落防止工		ポリウレアウレタン	m2	-	67.1	67.1	
	表面含浸材塗布工		けい酸塩系表面含浸材塗布	m2	327.7	290.9	618.6	
	断面修復工	補修面積	左官工法	m2	4.350	4.350	8.700	
		断面修復		m3	0.131	0.131	0.262	
		殻運搬処分	鉄筋構造物	m3	0.131	0.131	0.262	
		殻運搬処分	鉄筋構造物	t	0.328	0.328	0.656	

工種	細別	規格	単位	数量				備考
				P4	P5	A2	合計	
				P4-P5		P5-A2		
下部工補修								
	ひびわれ補修工							
	ひびわれ注入工	補修延長	m		28.10	17.00	45.1	
		注入材	kg		2.53	1.53	4.06	
		シーラ材	kg		2.90	1.70	4.6	
		低圧注入器具	個	@0.3m	94	57	151	
	ひびわれ充填工	補修延長	m		-	-	0.0	
		充填剤	kg		-	-	0.0	
	断面修復工	補修面積	m2	左官工法	-	2.038	2.038	
		断面修復	m3	ポリマーセメントモルタル	-	0.080	0.080	
		殻運搬処分	m3	鉄筋構造物	-	0.080	0.080	
		殻運搬処分	t	鉄筋構造物	-	0.201	0.201	
仮設工								
	吊り足場	橋梁下面	m2	桁高1.5m未満	535.5	534.2	1069.7	
	枠組み足場		掛m2	上部工	2430.0	2430.0	4860.0	
	防護設備工		m2	シート張防護	2965.5	2964.2	5929.7	
			m2	板張防護	330.0	330.0	660.0	
	枠組み足場		掛m3	下部工	343.6	105.0	448.6	

2. 塗装塗替工

2.1 数量総括表

[illegible]

2.2 塗装面積計算

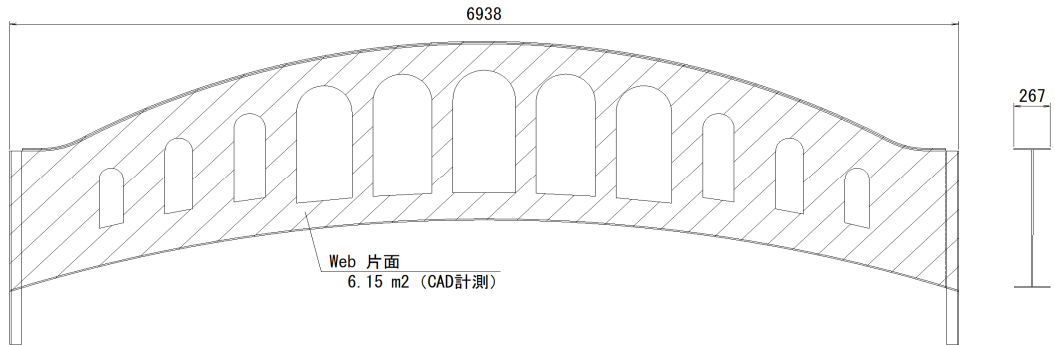
日野橋における塗膜の除去数量および塗装数量を算出する。

なお、部材長については格点距離を採用した。

1. 上部工

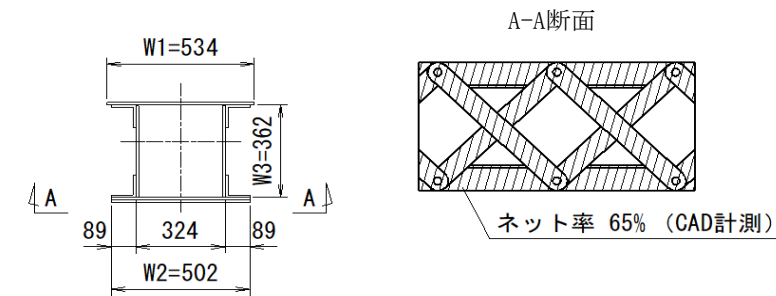
塗膜除去および現場塗装数量

(1) 橋門構

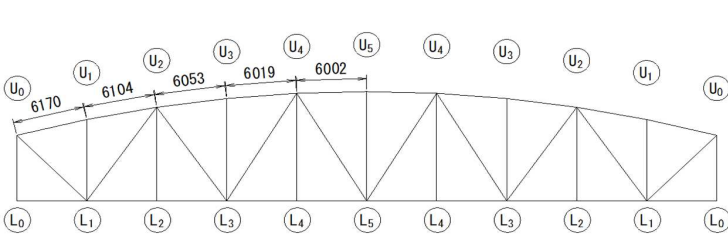


	板幅	部材長	面数	部材数	
上下フランジA ₁	= 0.267	×	6.938	×	4
				×	2
					= 14.82 m ²
腹板A ₂	= 6.150	×	2	×	2
					= 24.60 m ²
ΣA					= 39.42 m ²

(2) 上弦材



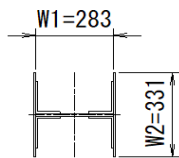
板幅	
W ₁	= 0.534 m
W ₂	= 0.502 m
W ₃	= 0.362 m



部材長	
U0-U1	= 6.170 m
U1-U2	= 6.104 m
U2-U3	= 6.053 m
U3-U4	= 6.019 m
U4-U5	= 6.002 m
Σ	= 30.348 m
2Σ	= 60.696 m

	板幅	部材長	面数	主構数	ネット率	
上フランジA ₁	= 0.534	×	60.696	×	2	
				×	2	= 129.65 m ²
下フランジA ₂	= 0.502	×	60.696	×	2	×
					0.65	= 79.22 m ²
腹板A ₃	= 0.362	×	60.696	×	4	×
					2	= 175.78 m ²
ΣA						= 384.64 m ²

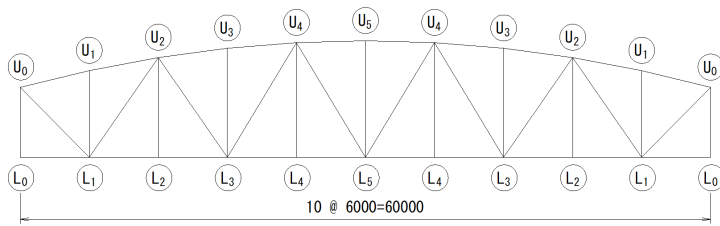
(3) 下弦材



板幅

$$W_1 = 0.283 \text{ m}$$

$$W_2 = 0.331 \text{ m}$$



部材長

$$10 \times 6.000 = 60.000 \text{ m}$$

	板幅	部材長	面数	主構数
上下フランジ A_1	$= 0.331$	$\times 60.000$	$\times 4$	$\times 2$
腹板 A_2	$= 0.283$	$\times 60.000$	$\times 2$	$\times 2$

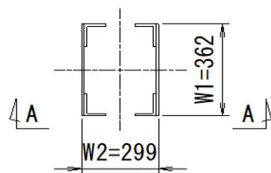
$$= 158.88 \text{ m}^2$$

$$= 67.92 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 226.80 \text{ m}^2$$

(4) 斜材

1) U0-L1部材

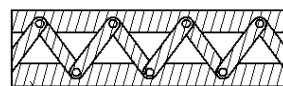


A-A断面

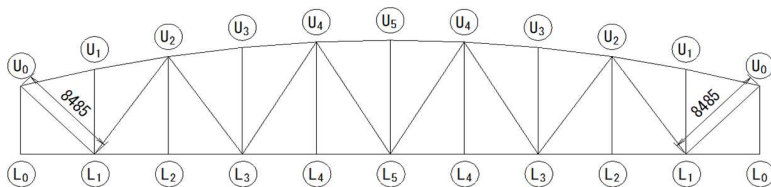
板幅

$$W_1 = 0.362 \text{ m}$$

$$W_2 = 0.299 \text{ m}$$



ネット率 79% (CAD計測)



部材長

$$2 \times 8.485 \text{ m} = 16.970 \text{ m}$$

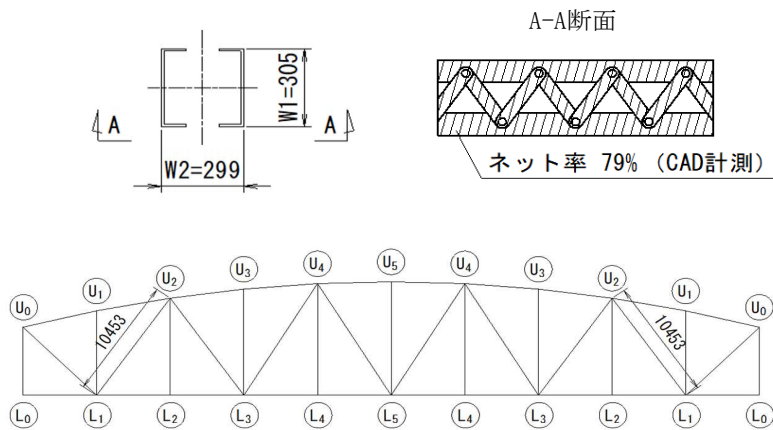
	板幅	部材長	面数	主構数
A_1	$= 0.362$	$\times 16.970$	$\times 4$	$\times 2$
A_2	$= 0.299$	$\times 16.970$	$\times 4$	$\times 2$

$$= 49.15 \text{ m}^2$$

$$= 32.07 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 81.22 \text{ m}^2$$

2) U2-L1部材



板幅

$$W_1 = 0.305 \text{ m}$$

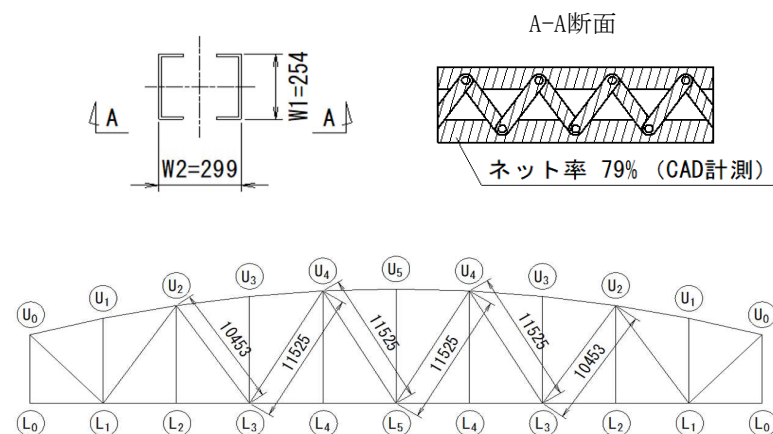
$$W_2 = 0.299 \text{ m}$$

部材長

$$2 \times 10.453 \text{ m} = 20.906 \text{ m}$$

	板幅	部材長	面数	主構数	ネット率	
CH材 腹板面 A_1	$= 0.305$	$\times 20.906$	$\times 4$	$\times 2$		$= 51.01 \text{ m}^2$
CH材 フランジ面 A_2	$= 0.299$	$\times 20.906$	$\times 4$	$\times 2$	$\times 0.79$	$= 39.51 \text{ m}^2$
ΣA						$= 90.52 \text{ m}^2$

3) U2-L3, U4-L3, U4-L5部材



板幅

$$W_1 = 0.254 \text{ m}$$

$$W_2 = 0.299 \text{ m}$$

部材長

$$U2-L3 = 10.453 \text{ m}$$

$$U4-L3 = 11.525 \text{ m}$$

$$U4-L5 = 11.525 \text{ m}$$

$$\Sigma = 33.503 \text{ m}$$

$$2 \Sigma = 67.006 \text{ m}$$

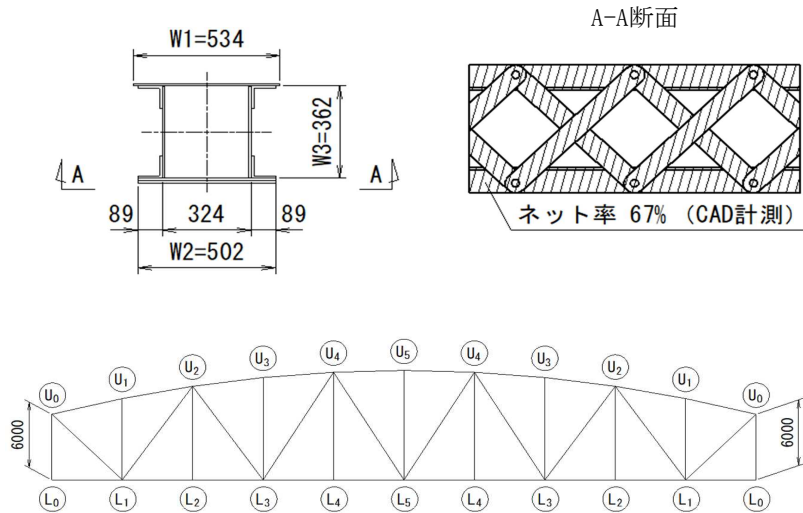
	板幅	部材長	面数	主構数	ネット率	
CH材 腹板面 A_1	$= 0.254$	$\times 67.006$	$\times 4$	$\times 2$		$= 136.16 \text{ m}^3$
CH材 フランジ面 A_2	$= 0.299$	$\times 67.006$	$\times 4$	$\times 2$	$\times 0.79$	$= 126.62 \text{ m}^3$
ΣA						$= 262.78 \text{ m}^3$

4) 合計

$$\Sigma A = 81.22 + 90.52 + 262.78 = 434.52 \text{ m}^2$$

(5) 垂直材

1) U0-L0部材



板幅

$$W_1 = 0.534 \text{ m}$$

$$W_2 = 0.502 \text{ m}$$

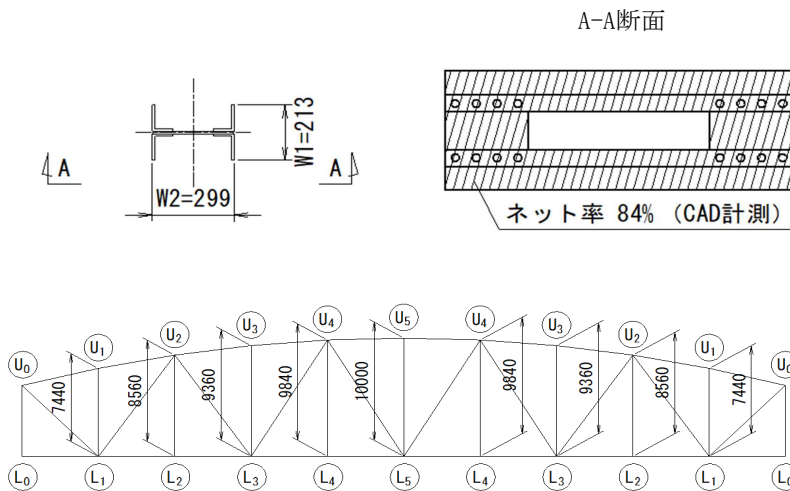
$$W_3 = 0.362 \text{ m}$$

部材長

$$2 \times 6.000 = 12.000 \text{ m}$$

	板幅	部材長	面数	主構数	ネット率	
上フランジA ₁	= 0.534	× 12.000	× 2	× 2		= 25.63 m ³
下フランジA ₂	= 0.502	× 12.000	× 2	× 2	× 0.67	= 16.14 m ³
腹板A ₃	= 0.362	× 12.000	× 4	× 2		= 34.75 m ³
ΣA						= 76.52 m ³

2) U1-L1, U2-L2, U3-L3, U4-L4, U5-L5部材



板幅

$$W_1 = 0.213 \text{ m}$$

$$W_2 = 0.299 \text{ m}$$

部材長

$$U1-L1 \quad 7.440 \text{ m}$$

$$U2-L2 \quad 8.560 \text{ m}$$

$$U3-L3 \quad 9.360 \text{ m}$$

$$U5-L5 \quad 9.840 \text{ m}$$

$$\Sigma = 35.200 \text{ m}$$

$$2\Sigma = 70.400 \text{ m}$$

$$V6 \quad 10.000 \text{ m}$$

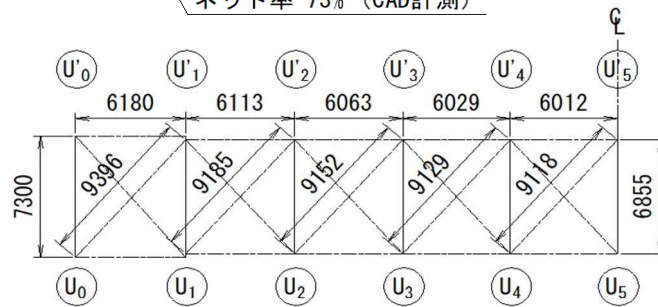
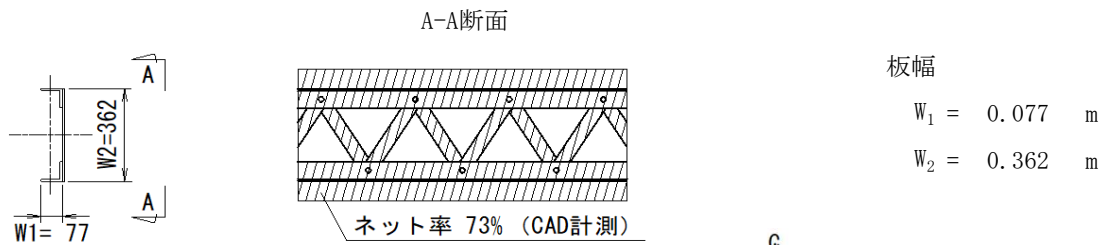
$$\Sigma = 80.400 \text{ m}$$

	板幅	部材長	面数	主構数	ネット率	
上下フランジA ₁	= 0.213	× 80.400	× 4	× 2		= 137.00 m ²
腹板A ₂	= 0.299	× 80.400	× 2	× 2	× 0.84	= 80.77 m ²
ΣA						= 217.77 m ²

3) 合計

$$\Sigma A = 76.52 + 217.77 = 294.29 \text{ m}^2$$

(6) 上綾構

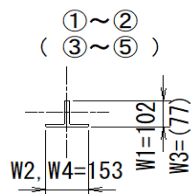


部材長

U'0-U1, U0-U'1	9.396	×	2	×	2	=	37.584	m
U'1-U2, U1-U'2	9.185	×	2	×	2	=	36.740	m
U'2-U3, U2-U'3	9.152	×	2	×	2	=	36.608	m
U'3-U4, U3-U'4	9.129	×	2	×	2	=	36.516	m
U'4-U5, U4-U'5	9.118	×	2	×	2	=	36.472	m
$\Sigma = 183.920 \text{ m}$								

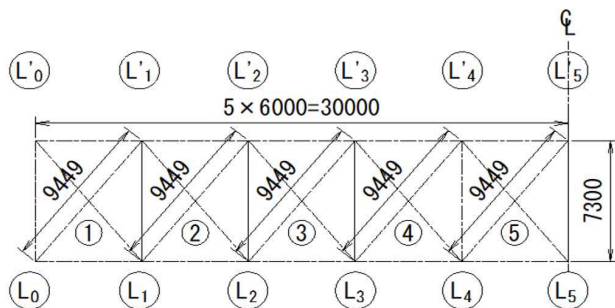
	板幅	部材長	面数	ネット率	
上下フランジ A_1	$= 0.077$	$\times 183.920$	$\times 4$		$= 56.65 \text{ m}^2$
腹板 A_2	$= 0.362$	$\times 183.920$	$\times 2$	$\times 0.73$	$= 97.21 \text{ m}^2$
ΣA					$= 153.86 \text{ m}^2$

(6) 下綾構



板幅

$$\begin{aligned} W_1 &= 0.102 \text{ m} \\ W_2 &= 0.153 \text{ m} \\ W_3 &= 0.077 \text{ m} \\ W_4 &= 0.153 \text{ m} \end{aligned}$$



部材長

$$\begin{aligned} \text{①} \sim \text{②} & 9.449 \text{ m} \times 8 = 75.592 \text{ m} \\ \text{③} \sim \text{⑤} & 9.449 \text{ m} \times 12 = 113.388 \text{ m} \end{aligned}$$

1) ①～②パネル

	板幅	部材長	面数	
腹板 A_1	0.102	$\times 75.592$	$\times 2$	$= 15.42 \text{ m}^2$
フランジ A_2	0.153	$\times 75.592$	$\times 2$	$= 23.13 \text{ m}^2$
ΣA				$= 38.55 \text{ m}^2$

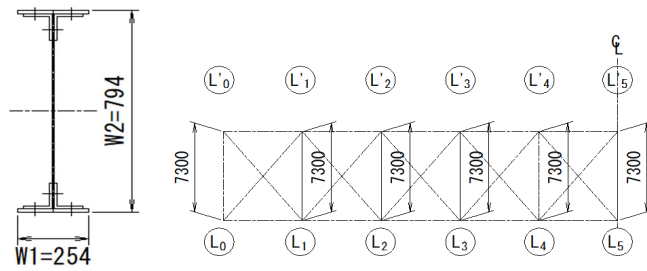
2) ③～⑤パネル

	板幅	部材長	面数	
腹板 A_1	0.077	$\times 113.388$	$\times 2$	$= 17.46 \text{ m}^2$
フランジ A_2	0.153	$\times 113.388$	$\times 2$	$= 34.70 \text{ m}^2$
ΣA				$= 52.16 \text{ m}^2$

3) 合計

$$\Sigma A = 38.55 + 52.16 = 90.71 \text{ m}^2$$

(8) 横桁



板幅

$$W_1 = 0.254 \text{ m}$$

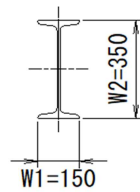
$$W_2 = 0.794 \text{ m}$$

部材長

$$11 \times 7.300 = 80.300 \text{ m}$$

	板幅	部材長	面数	
上下フランジ A_1	$= 0.254$	$\times 80.300$	$\times 3$	$= 61.19 \text{ m}^2$
腹板 A_2	$= 0.794$	$\times 80.300$	$\times 2$	$= 127.52 \text{ m}^2$
ΣA				$= 188.71 \text{ m}^2$

(9) 縦桁



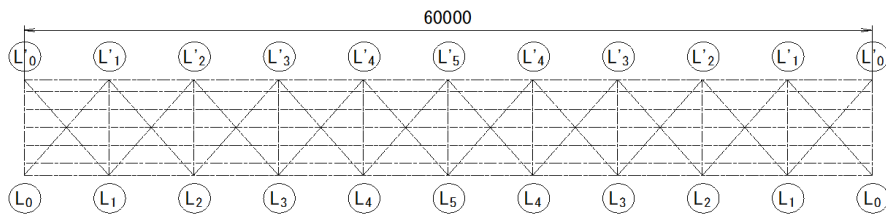
板幅

$$W_1 = 0.150 \text{ m}$$

$$W_2 = 0.350 \text{ m}$$

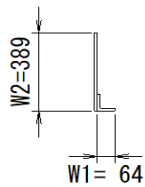
部材長

$$5 \times 60.000 = 300.000 \text{ m}$$



	板幅	部材長	面数	
上下フランジ A_1	$= 0.150$	$\times 300.000$	$\times 3$	$= 135.00 \text{ m}^2$
腹板 A_2	$= 0.350$	$\times 300.000$	$\times 2$	$= 210.00 \text{ m}^2$
ΣA				$= 345.00 \text{ m}^2$

(10) 縦桁繋ぎ材



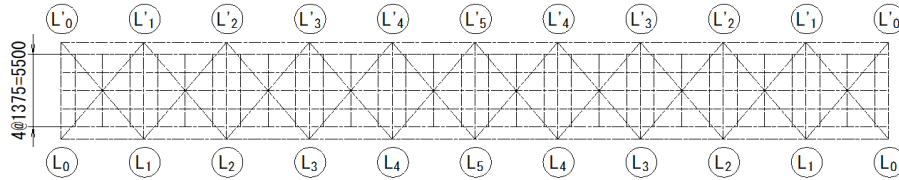
板幅

$$W_1 = 0.064 \text{ m}$$

$$W_2 = 0.389 \text{ m}$$

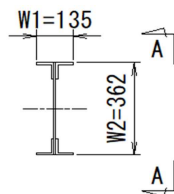
部材長

$$30 \times 4 \times 1.375 = 165.000 \text{ m}$$

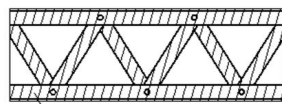


	板幅	部材長	面数	
フランジ A_1	0.064	$\times 165.000$	$\times 3$	$= 31.68 \text{ m}^2$
腹板 A_2	0.389	$\times 165.000$	$\times 2$	$= 128.37 \text{ m}^2$
ΣA				$= 160.05 \text{ m}^2$

(11) 横支材



A-A断面



ネット率 57% (CAD計測)

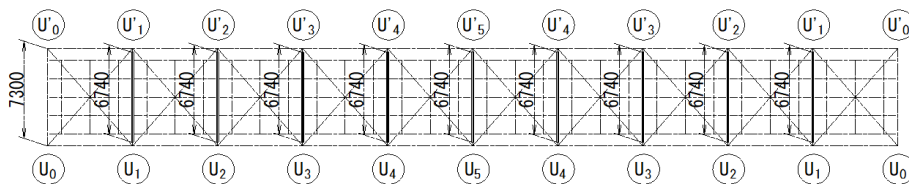
板幅

$$W_1 = 0.135 \text{ m}$$

$$W_2 = 0.362 \text{ m}$$

部材長

$$9 \times 6.740 = 60.660 \text{ m}$$



	板幅	部材長	面数	ネット率	
上下フランジ A_1	0.135	$\times 60.660$	$\times 4$		$= 32.76 \text{ m}^2$
腹板 A_2	0.362	$\times 60.660$	$\times 4$	$\times 0.57$	$= 50.07 \text{ m}^2$
ΣA					$= 82.82 \text{ m}^2$

(12) 上部工合計

	A (m ²)	Σ A (m ²)	割増係数	塗装面積 (m ²)
橋門構	39.42	2400.82	×1.05	2520.9
上弦材	384.64			
下弦材	226.80			
斜材	434.52			
垂直材	294.29			
上綾構	153.86			
下綾構	90.71			
横桁	188.71			
縦桁	345.00			
縦桁繋ぎ材	160.05			
横支材	82.82			

※) 割増係数はがセットプレート、連結板、当て板補強工等の増加分を考慮したものである。

$$\text{上部工塗装面積総合計} \quad \Sigma A = 2 \times 2520.9 = 5041.7 \text{ m}^2$$

2. 床版下面鋼板接着部

	A (m ²)	Σ A (m ²)
P4-P5	84.1	137.9
P5-A2	53.8	

3. 集計表

	上部工塗膜剥離・塗装面積	床版下面鋼板塗装面積	総塗装面積
	(m2)		
P4-P5	2520.9	84.1	2605.0
P5-A2	2520.9	53.8	2574.6
合計	5041.7	137.9	5179.6

3. 上部工補修数量

3.1 数量総括表

種 別	規 格	単位				備 考
			P4-P5	P5-A2	合計	
当て板補強工						
製作加工						
鋼材	PL(SS400) t=8	t	0.667	0.648	1.315	7,850kg/m3
高力ボルト						
TCB S10T	M22×60	本	1146	1122	2268	
部材取付	総重量	t	0.667	0.648	1.315	
〃	部材数	個	77	76	153	
〃	平均質量	t	0.009	0.009		最大：0.096t
現場孔明け工	φ 24.5	箇所	1124	1100	2224	TCB
高力ボルト撤去工		箇所	0	0	0	HTB
リベット撤去工		箇所	22	22	44	
高力ボルト本締め工	TCB M22	本	1146	1122	2268	
ピンテール仕上げ	TCB M22	本	1146	1122	2268	高力ボルト本締め工と同じ
芯出し調整工		m2	7.5	7.2	14.7	
不陸調整工		m2	2.2	2.1	4.3	
鉄パテ		m3	0.012	0.011	0.023	
FRPシート設置工						
紫外線硬化型FRPシート	区分A	m2	7.9	7.6	15.5	0.01m2以上0.07m2未満
〃	区分B	m2	6.5	5.9	12.4	0.07m2以上0.15m2未満
〃	区分C	m2	17.8	15.3	33.1	0.15m2以上
不陸調整工						
不陸整正工		m2	84.3	84.5	168.8	
鉄パテ		m3	0.408	0.408	0.815	
カバープレート切断・撤去工						
切断工	ガス切断	m	240.0	240.0	480.0	
撤去工	撤去重量	t	1.612	1.612	3.224	

補修数量集計表(第5径間)

部材	当て板補強工							FRPシート補修工						不陸調整工		
	鋼材			高力ボルト 締め付け工 (本)	高力ボルト リベット 撤去工 (本)	不陸整正		区分A		区分B		区分C		箇所数	面積 (m²)	体積 (m³)
	箇所数	面積 (m²)	重量 (t)			面積 (m²)	鉄パテ 体積 (m³)	0.01m2以上0.07m2未満		0.07m2以上0.15m2未満		0.15m2以上				
								面積 (m²)	箇所数	面積 (m²)	箇所数	面積 (m²)	箇所数			
上弦材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60	3.0	0.008
下弦材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4	3	1.5	5	2	0.2	0.000
斜材	77	7.5	0.667	1146	22	2.2	0.012	3.6	90	1.8	15	8.4	27	456	7.9	0.028
垂直材	-	-	-	-	-	-	-	2.6	55	-	-	-	-	189	3.3	0.008
橋門構	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	0.6	0.002
上綾構	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	3	-	-	6	0.0	0.000
横支材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	0.2	0.001
下綾構	-	-	-	-	-	-	-	1.2	20	-	-	-	-	70	5.8	0.019
横桁	-	-	-	-	-	-	-	0.4	11	-	-	7.9	23	98	7.8	0.033
縦桁	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	50	-	-	450	53.6	0.304
対傾構	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	1.8	0.005
合計	77	7.5	0.667	1146	22	2.2	0.012	7.9	176	6.5	71	17.8	55	1383	84.3	0.408

補修数量集計表(第6径間)

部材	当て板補強工							FRPシート補修工						不陸調整工		
	鋼材			高力ボルト 締め付け工 (本)	高力ボルト リベット 撤去工 (本)	不陸整正		区分A		区分B		区分C		箇所数	面積 (m²)	体積 (m³)
	箇所数	面積 (m²)	重量 (t)			面積 (m²)	鉄パテ 体積 (m³)	0.01m2以上0.07m2未満		0.07m2以上0.15m2未満		0.15m2以上				
								面積 (m²)	箇所数	面積 (m²)	箇所数	面積 (m²)	箇所数			
上弦材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	4.6	0.012
下弦材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
斜材	76	7.2	0.648	1122	22	2.1	0.011	3.1	78	1.6	13	7.4	24	396	6.9	0.024
垂直材	-	-	-	-	-	-	-	2.9	60	-	-	-	-	188	3.3	0.008
橋門構	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	0.6	0.002
上綾構	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	3	-	-	6	0.0	0.000
横支材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	0.1	0.000
下綾構	-	-	-	-	-	-	-	1.2	20	-	-	-	-	70	5.8	0.019
横桁	-	-	-	-	-	-	-	0.4	11	-	-	7.9	23	98	7.8	0.033
縦桁	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	50	-	-	450	53.6	0.304
対傾構	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	1.8	0.005
合計	76	7.2	0.648	1122	22	2.1	0.011	7.6	169	5.9	66	15.3	47	1344	84.5	0.408

3.2.5 P4-P5（第5径間）

(1) 当て板補強工数量

1) 製作加工 鋼材 PL SS400 t= 8

① 上弦材	=	-	t
② 下弦材	=	-	t
③ 斜材	=	0.667	t
④ 垂直材	=	-	t

⑤ 橋門構	=	-	t
⑥ 上綾構	=	-	t
⑦ 横支材	=	-	t
⑧ 下綾構	=	-	t
⑨ 横桁	=	-	t
⑩ 縦桁	=	-	t
⑪ 対傾構	=	-	t

$$\Sigma W = \boxed{0.667} \text{ t}$$

2) 高力ボルト本締め工

ボルトの最大間隔は部材軸方向に対し12t、直角方向に対し24tとする。

① 上弦材	=	-	本
② 下弦材	=	-	本
③ 斜材	=	1146.000	本
④ 垂直材	=	-	本

⑤ 橋門構	=	-	本
⑥ 上綾構	=	-	本
⑦ 横支材	=	-	本
⑧ 下綾構	=	-	本
⑨ 横桁	=	-	本
⑩ 縦桁	=	-	本
⑪ 対傾構	=	-	本

$$\Sigma N = \boxed{1146} \text{ 本}$$

3) ピンテール仕上げ工

① 上弦材	=	-	本
② 下弦材	=	-	本
③ 斜材	=	1146	本
④ 垂直材	=	-	本

⑤ 橋門構	=	-	本
⑥ 上綾構	=	-	本
⑦ 横支材	=	-	本
⑧ 下綾構	=	-	本
⑨ 横桁	=	-	本
⑩ 縦桁	=	-	本
⑪ 対傾構	=	-	本

$$\Sigma N = \boxed{1146} \text{ 本}$$

4) 芯出し調整工

① 上弦材	=	-	m2
② 下弦材	=	-	m2
③ 斜材	=	7.500	m2
④ 垂直材	=	-	m2

⑤ 橋門構	=	-	m2
⑥ 上綾構	=	-	m2
⑦ 横支材	=	-	m2
⑧ 下綾構	=	-	m2
⑨ 横桁	=	-	m2
⑩ 縦桁	=	-	m2
⑪ 対傾構	=	-	m2

$$= \boxed{7.5} \text{ m2}$$

5) リベット撤去工

① 上弦材	=	-	本
② 下弦材	=	-	本
③ 斜材	=	22	本
④ 垂直材	=	-	本

$$\Sigma N = \boxed{22} \text{ 本}$$

6) 高力ボルト撤去工

⑤ 橋門構	=	-	本
⑥ 上綾構	=	-	本
⑦ 横支材	=	-	本
⑧ 下綾構	=	-	本
⑨ 横桁	=	-	本
⑩ 縦桁	=	-	本
⑪ 対傾構	=	-	本

$$\Sigma N = \boxed{0} \text{ 本}$$

7) 現場孔明け工

現場孔明けは、リベット及び高力ボルト設置箇所は流用するものとして、値を控除している。

現場孔明け箇所 = 高力ボルト本締め工本数 - リベット撤去本数 あるいは 高力ボルト撤去本数

① 上弦材	-	-	-	(リベット撤去本数)	=	-	箇所
② 下弦材	-	-	-	"	=	-	箇所
③ 斜材	1146	-	22	"	=	1124	箇所
④ 垂直材	-	-	-	"	=	-	箇所
⑤ 橋門構	-	-	-	(高力ボルト撤去本数)	=	-	箇所
⑥ 上綾構	-	-	-	"	=	-	箇所
⑦ 横支材	-	-	-	"	=	-	箇所
⑧ 下綾構	-	-	-	"	=	-	箇所
⑨ 横桁	-	-	-	"	=	-	箇所
⑩ 縦桁	-	-	-	"	=	-	箇所
⑪ 対傾構	-	-	-	"	=	-	箇所

$$\Sigma N = \boxed{1124} \text{ 箇所}$$

8) 不陸整正工

面積

① 上弦材	=	-	m2
② 下弦材	=	-	m2
③ 斜材	=	2.2	m2
④ 垂直材	=	-	m2

⑤ 橋門構	=	-	m2
⑥ 上綾構	=	-	m2
⑦ 横支材	=	-	m2
⑧ 下綾構	=	-	m2
⑨ 横桁	=	-	m2
⑩ 縦桁	=	-	m2
⑪ 対傾構	=	-	m2

$\Sigma A = \boxed{2.2} m2$

9) 鉄パテ

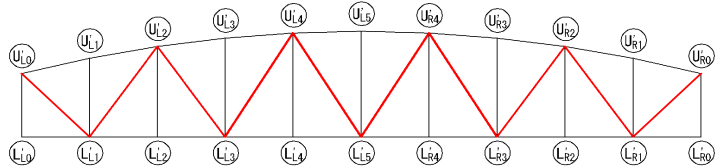
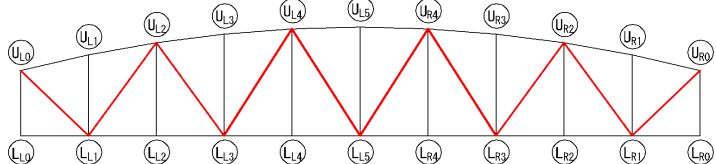
① 上弦材	=	-	m3
② 下弦材	=	-	m3
③ 斜材	=	0.012	m3
④ 垂直材	=	-	m3

⑤ 橋門構	=	-	m3
⑥ 上綾構	=	-	m3
⑦ 横支材	=	-	m3
⑧ 下綾構	=	-	m3
⑨ 横桁	=	-	m3
⑩ 縦桁	=	-	m3
⑪ 対傾構	=	-	m3

$\Sigma V = \boxed{0.012} m3$

(2) 当て板補強工数量計算内訳表

1) 斜材

下流側												
												
部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）									
	損傷の種類	補修番号	当て板補強									
			鋼材						高力ボルト 締め付け工 (本)	リベット 撤去工 (本)	不陸整正	
			板幅 (mm)	板厚 (mm)	長さ (mm)	箇所	面積 (m²)	重量 (t)			面積 (m²)	鉄パテ 体積(m³)
U'L0－L'L1	腐食	F-1-1	400	8	300	1	0.12	0.008	12	-	0.0180	0.0001
	腐食(孔食)	F-1-2	600	8	500	1	0.3	0.019	24	-	0.1200	0.0011
	腐食	F-3-1	400	8	300	1	0.12	0.008	12	-	0.0200	0.0001
	腐食	F-3-2	600	8	400	1	0.24	0.015	20	-	0.0700	0.0003
	腐食(孔食)	F-3-3	300	8	300	1	0.09	0.006	12	-	0.0100	0.0001
	腐食	F-4-1	400	8	300	2	0.12	0.015	24	4	0.0150	0.0000
	腐食	F-4-2	300	8	300	17	0.09	0.096	204	-	0.0425	0.0002
	腐食	F-5-1	400	8	400	1	0.16	0.010	15	-	0.0400	0.0002
	腐食	F-5-2	400	8	700	1	0.28	0.018	24	-	0.1000	0.0002
	腐食(孔食)	F-5-3	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0016	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-4	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0016	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-5	300	8	200	1	0.06	0.004	9	-	0.0032	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-6	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0009	0.0000
	腐食	F-5-7	300	8	400	1	0.12	0.008	15	-	0.0200	0.0001
	腐食(孔食)	F-7-1	300	8	300	1	0.09	0.006	12	-	0.0100	0.0001
	腐食(孔食)	F-7-2	500	8	1100	1	0.55	0.035	48	-	0.2250	0.0005
	腐食	F-7-3	500	8	900	1	0.45	0.028	40	-	0.1750	0.0007
	腐食(孔食)	F-8-1	300	8	700	1	0.21	0.013	24	3	0.0450	0.0006
	腐食	F-8-4	300	8	300	1	0.09	0.006	12	2	0.0050	0.0000
	腐食	F-8-5	300	8	300	1	0.09	0.006	12	2	0.0100	0.0000
U'L2－L'L1	腐食(孔食)	F-1-2	600	8	500	1	0.3	0.019	24	-	0.1200	0.0011
U'R2－L'R1	腐食(孔食)	F-1-2	600	8	500	1	0.3	0.019	24	-	0.1200	0.0011
UL2－LL1	腐食(孔食)	F-1-2	600	8	500	1	0.3	0.019	24	-	0.1200	0.0011
UR0－LR1	腐食	F-1-1	400	8	300	1	0.12	0.008	12	-	0.0180	0.0001
	腐食(孔食)	F-1-2	600	8	500	1	0.3	0.019	24	-	0.1200	0.0011
	腐食	F-3-1	400	8	300	1	0.12	0.008	12	-	0.0200	0.0001
	腐食	F-3-2	600	8	400	1	0.24	0.015	20	-	0.0700	0.0003
	腐食(孔食)	F-3-3	300	8	300	1	0.09	0.006	12	-	0.0100	0.0001
	腐食	F-4-1	400	8	300	2	0.12	0.015	24	4	0.0150	0.0000
	腐食	F-4-2	300	8	300	17	0.09	0.096	204	-	0.0425	0.0002
	腐食	F-5-1	400	8	400	1	0.16	0.010	15	-	0.0400	0.0002
	腐食	F-5-2	400	8	700	1	0.28	0.018	24	-	0.1000	0.0002
	腐食(孔食)	F-5-3	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0016	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-4	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0016	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-5	300	8	200	1	0.06	0.004	9	-	0.0032	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-6	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0009	0.0000
	腐食	F-5-7	300	8	400	1	0.12	0.008	15	-	0.0200	0.0001
	腐食(孔食)	F-7-1	300	8	300	1	0.09	0.006	12	-	0.0100	0.0001
	腐食(孔食)	F-7-2	500	8	1100	1	0.55	0.035	48	-	0.2250	0.0005
	腐食	F-7-3	500	8	900	1	0.45	0.028	40	-	0.1750	0.0007
	腐食(孔食)	F-8-1	300	8	700	1	0.21	0.013	24	3	0.0450	0.0006
	腐食	F-8-4	300	8	300	1	0.09	0.006	12	2	0.0050	0.0000
	腐食	F-8-5	300	8	300	1	0.09	0.006	12	2	0.0100	0.0000
補修数量合計			-	-	-	77	7.5	0.667	1146	22	2.226	0.012

3.2.6 P5-A2 (第6径間)

(1) 当て板補強工数量

1) 製作加工 鋼材 PL SS400 t= 8

① 上弦材	=	-	t
② 下弦材	=	-	t
③ 斜材	=	0.648	t
④ 垂直材	=	-	t

⑤ 橋門構	=	-	t
⑥ 上綾構	=	-	t
⑦ 横支材	=	-	t
⑧ 下綾構	=	-	t
⑨ 横桁	=	-	t
⑩ 縦桁	=	-	t
⑪ 対傾構	=	-	t

$$\Sigma W = \boxed{0.648} \text{ t}$$

2) 高力ボルト本締め工

ボルトの最大間隔は部材軸方向に対し12t、直角方向に対し24tとする。

① 上弦材	=	-	本
② 下弦材	=	-	本
③ 斜材	=	1122.000	本
④ 垂直材	=	-	本

⑤ 橋門構	=	-	本
⑥ 上綾構	=	-	本
⑦ 横支材	=	-	本
⑧ 下綾構	=	-	本
⑨ 横桁	=	-	本
⑩ 縦桁	=	-	本
⑪ 対傾構	=	-	本

$$\Sigma N = \boxed{1122} \text{ 本}$$

3) ピンテール仕上げ工

① 上弦材	=	-	本
② 下弦材	=	-	本
③ 斜材	=	1122	本
④ 垂直材	=	-	本

⑤ 橋門構	=	-	本
⑥ 上綾構	=	-	本
⑦ 横支材	=	-	本
⑧ 下綾構	=	-	本
⑨ 横桁	=	-	本
⑩ 縦桁	=	-	本
⑪ 対傾構	=	-	本

$$\Sigma N = \boxed{1122} \text{ 本}$$

4) 芯出し調整工

① 上弦材	=	-	m2
② 下弦材	=	-	m2
③ 斜材	=	7.200	m2
④ 垂直材	=	-	m2

⑤ 橋門構	=	-	m2
⑥ 上綾構	=	-	m2
⑦ 横支材	=	-	m2
⑧ 下綾構	=	-	m2
⑨ 横桁	=	-	m2
⑩ 縦桁	=	-	m2
⑪ 対傾構	=	-	m2

$$= \boxed{7.2} \text{ m2}$$

5) リベット撤去工

① 上弦材	=	-	本
② 下弦材	=	-	本
③ 斜材	=	22	本
④ 垂直材	=	-	本

$$\Sigma N = \boxed{22} \text{ 本}$$

6) 高力ボルト撤去工

⑤ 橋門構	=	-	本
⑥ 上綾構	=	-	本
⑦ 横支材	=	-	本
⑧ 下綾構	=	-	本
⑨ 横桁	=	-	本
⑩ 縦桁	=	-	本
⑪ 対傾構	=	-	本

$$\Sigma N = \boxed{0} \text{ 本}$$

7) 現場孔明け工

現場孔明けは、リベット及び高力ボルト設置箇所は流用するものとして、値を控除している。

現場孔明け箇所 = 高力ボルト本締め工本数 - リベット撤去本数 あるいは 高力ボルト撤去本数

① 上弦材	-	-	-	(リベット撤去本数)	=	-	箇所
② 下弦材	-	-	-	"	=	-	箇所
③ 斜材	1122	-	22	"	=	1100	箇所
④ 垂直材	-	-	-	"	=	-	箇所
⑤ 橋門構	-	-	-	(高力ボルト撤去本数)	=	-	箇所
⑥ 上綾構	-	-	-	"	=	-	箇所
⑦ 横支材	-	-	-	"	=	-	箇所
⑧ 下綾構	-	-	-	"	=	-	箇所
⑨ 横桁	-	-	-	"	=	-	箇所
⑩ 縦桁	-	-	-	"	=	-	箇所
⑪ 対傾構	-	-	-	"	=	-	箇所

$$\Sigma N = \boxed{1100} \text{ 箇所}$$

8) 不陸整正工

面積									
① 上弦材	=	-	m2		⑤ 橋門構	=	-	m2	
② 下弦材	=	-	m2		⑥ 上綾構	=	-	m2	
③ 斜材	=	2.1	m2		⑦ 横支材	=	-	m2	
④ 垂直材	=	-	m2		⑧ 下綾構	=	-	m2	
					⑨ 横桁	=	-	m2	
					⑩ 縦桁	=	-	m2	
					⑪ 対傾構	=	-	m2	
					$\Sigma A = \boxed{2.1} m2$				

9) 鉄パテ

① 上弦材	=	-	m3		⑤ 橋門構	=	-	m3	
② 下弦材	=	-	m3		⑥ 上綾構	=	-	m3	
③ 斜材	=	0.011	m3		⑦ 横支材	=	-	m3	
④ 垂直材	=	-	m3		⑧ 下綾構	=	-	m3	
					⑨ 横桁	=	-	m3	
					⑩ 縦桁	=	-	m3	
					⑪ 対傾構	=	-	m3	
					$\Sigma V = \boxed{0.011} m3$				

(2) 当て板補強工数量計算内訳表

1) 斜材

下流側												
部材	損傷		補修数量：P5-A2（第6径間）									
	損傷の種類	補修番号	当て板補強								不陸整正	
			鋼材						高力ボルト 締め付け工 (本)	リベット 撤去工 (本)	面積 (m ²)	鉄パテ 体積(m ³)
			板幅 (mm)	板厚 (mm)	長さ (mm)	箇所	面積 (m ²)	重量 (t)				
U'R0－L'R1	腐食	F-1-1	400	8	300	1	0.12	0.008	12	-	0.0180	0.0001
	腐食(孔食)	F-1-2	600	8	500	1	0.3	0.019	24	-	0.1200	0.0011
	腐食	F-3-1	400	8	300	1	0.12	0.008	12	-	0.0200	0.0001
	腐食	F-3-2	600	8	400	1	0.24	0.015	20	-	0.0700	0.0003
	腐食(孔食)	F-3-3	300	8	300	1	0.09	0.006	12	-	0.0100	0.0001
	腐食	F-4-1	400	8	300	2	0.12	0.015	24	4	0.0150	0.0000
	腐食	F-4-2	300	8	300	17	0.09	0.096	204	-	0.0425	0.0002
	腐食	F-5-1	400	8	400	1	0.16	0.010	15	-	0.0400	0.0002
	腐食	F-5-2	400	8	700	1	0.28	0.018	24	-	0.1000	0.0002
	腐食(孔食)	F-5-3	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0016	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-4	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0016	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-5	300	8	200	1	0.06	0.004	9	-	0.0032	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-6	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0009	0.0000
	腐食	F-5-7	300	8	400	1	0.12	0.008	15	-	0.0200	0.0001
	腐食(孔食)	F-7-1	300	8	300	1	0.09	0.006	12	-	0.0100	0.0001
	腐食(孔食)	F-7-2	500	8	1100	1	0.55	0.035	48	-	0.2250	0.0005
	腐食	F-7-3	500	8	900	1	0.45	0.028	40	-	0.1750	0.0007
	腐食(孔食)	F-8-1	300	8	700	1	0.21	0.013	24	3	0.0450	0.0006
	腐食	F-8-4	300	8	300	1	0.09	0.006	12	2	0.0050	0.0000
	腐食	F-8-5	300	8	300	1	0.09	0.006	12	2	0.0100	0.0000
U'R2－L'R1	腐食(孔食)	F-1-2	600	8	500	1	0.3	0.019	24	-	0.1200	0.0011
UL0－LL1	腐食	F-1-1	400	8	300	1	0.12	0.008	12	-	0.0180	0.0001
	腐食(孔食)	F-1-2	600	8	500	1	0.3	0.019	24	-	0.1200	0.0011
	腐食	F-3-1	400	8	300	1	0.12	0.008	12	-	0.0200	0.0001
	腐食	F-3-2	600	8	400	1	0.24	0.015	20	-	0.0700	0.0003
	腐食(孔食)	F-3-3	300	8	300	1	0.09	0.006	12	-	0.0100	0.0001
	腐食	F-4-1	400	8	300	2	0.12	0.015	24	4	0.0150	0.0000
	腐食	F-4-2	300	8	300	17	0.09	0.096	204	-	0.0425	0.0002
	腐食	F-5-1	400	8	400	1	0.16	0.010	15	-	0.0400	0.0002
	腐食	F-5-2	400	8	700	1	0.28	0.018	24	-	0.1000	0.0002
	腐食(孔食)	F-5-3	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0016	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-4	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0016	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-5	300	8	200	1	0.06	0.004	9	-	0.0032	0.0000
	腐食(孔食)	F-5-6	200	8	200	1	0.04	0.003	6	-	0.0009	0.0000
	腐食	F-5-7	300	8	400	1	0.12	0.008	15	-	0.0200	0.0001
	腐食(孔食)	F-7-1	300	8	300	1	0.09	0.006	12	-	0.0100	0.0001
	腐食(孔食)	F-7-2	500	8	1100	1	0.55	0.035	48	-	0.2250	0.0005
	腐食	F-7-3	500	8	900	1	0.45	0.028	40	-	0.1750	0.0007
	腐食(孔食)	F-8-1	300	8	700	1	0.21	0.013	24	3	0.0450	0.0006
	腐食	F-8-4	300	8	300	1	0.09	0.006	12	2	0.0050	0.0000
UL0－LL1	腐食	F-8-5	300	8	300	1	0.09	0.006	12	2	0.0100	0.0000
UL2－LL1	腐食(孔食)	F-1-2	600	8	500	1	0.3	0.019	24	-	0.1200	0.0011
補修数量合計			-	-	-	76	7.2	0.648	1122	22	2.106	0.011

3.3.5 P4-P5（第5径間）

(1) FRPシート補修工数量

1) 区分A：0.01m2以上0.07m2未満

① 上弦材	=	-	m2	-	箇所	⑦ 横支材	=	-	m2	-	箇所
② 下弦材	=	-	m2	-	箇所	⑧ 下綾構	=	1.200	m2	20	箇所
③ 斜材	=	3.60	m2	90	箇所	⑨ 横桁	=	0.440	m2	11	箇所
④ 垂直材	=	2.64	m2	55	箇所	⑩ 縦桁	=	-	m2	-	箇所
⑤ 橋門構	=	-	m2	-	箇所	⑪ 対傾構	=	-	m2	-	箇所
⑥ 上綾構	=	-	m2	-	箇所						

Σ W = 7.880 m2

Σ n = 176 箇所

2) 区分B：0.07m2以上0.15m2未満

① 上弦材	=	-	m2	-	箇所	⑦ 横支材	=	-	m2	-	箇所
② 下弦材	=	0.40	m2	3	箇所	⑧ 下綾構	=	-	m2	-	箇所
③ 斜材	=	1.80	m2	15	箇所	⑨ 横桁	=	-	m2	-	箇所
④ 垂直材	=	-	m2	-	箇所	⑩ 縦桁	=	4.000	m2	50	箇所
⑤ 橋門構	=	-	m2	-	箇所	⑪ 対傾構	=	-	m2	-	箇所
⑥ 上綾構	=	0.30	m2	3	箇所						

Σ W = 6.500 m2

Σ n = 71 箇所

3) 区分C：0.15m2以上

① 上弦材	=	-	m2	-	箇所	⑦ 横支材	=	-	m2	-	箇所
② 下弦材	=	1.54	m2	5	箇所	⑧ 下綾構	=	-	m2	-	箇所
③ 斜材	=	8.40	m2	27	箇所	⑨ 横桁	=	7.860	m2	23	箇所
④ 垂直材	=	-	m2	-	箇所	⑩ 縦桁	=	-	m2	-	箇所
⑤ 橋門構	=	-	m2	-	箇所	⑪ 対傾構	=	-	m2	-	箇所
⑥ 上綾構	=	-	m2	-	箇所						

Σ W = 17.800 m2

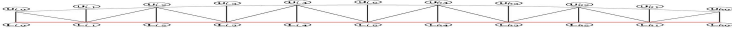
Σ n = 55 箇所

4) 数量集計表

部材	FRPシート補修工							
	区分A		区分B		区分C		合計	
	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数
上弦材	-	-	-	-	-	-	-	-
下弦材	-	-	0.4	3	1.5	5	1.9	8
斜材	3.6	90	1.8	15	8.4	27	13.8	132
垂直材	2.6	55	-	-	-	-	2.6	55
橋門構	-	-	-	-	-	-	0.0	0
上綾構	-	-	0.3	3	-	-	0.3	3
横支材	-	-	-	-	-	-	0.0	0
下綾構	1.2	20	-	-	-	-	1.2	20
横桁	0.4	11	-	-	7.9	23	8.3	34
縦桁	-	-	4.0	50	-	-	4.0	50
対傾構	-	-	-	-	-	-	0.0	0
合計	7.9	176	6.5	71	17.8	55	32.2	302

(2) FRPシート補修工 内訳表

1) 下弦材

 下流側										
 上流側										
部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数
LR0－LR1	腐食(孔食)	F-1-1	200	800	-	-	-	-	0.160	1
	腐食(孔食)	F-1-2	200	700	-	-	0.140	1	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	2000	-	-	-	-	0.800	2
	腐食(孔食)	F-4-2	200	2100	-	-	-	-	0.420	1
	腐食(孔食)	F-4-3	200	800	-	-	-	-	0.160	1
	腐食(孔食)	F-4-4	200	700	-	-	0.140	1	-	-
	腐食(孔食)	F-4-5	200	600	-	-	0.120	1	-	-
補修数量合計			1400	7700	-	-	0.400	3	1.540	5

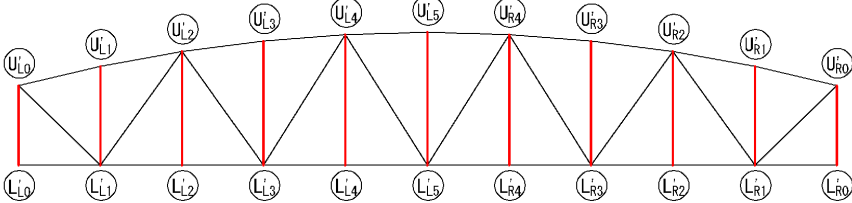
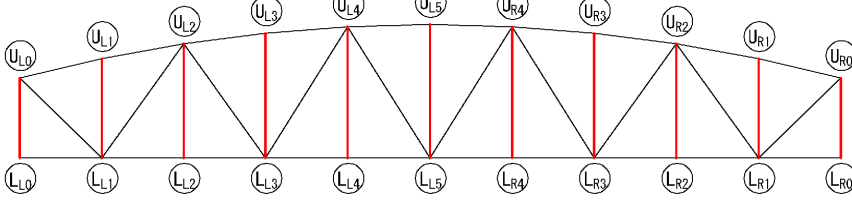
2) 斜材

下流側										
上流側										
部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数
U'L2－L'1	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
U'L2－L'3	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
U'L4－L'3	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
U'L4－L'5	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
U'R2－L'R1	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1

部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数
U'R2－L'R3	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
U'R4－L'R3	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
U'R4－L'R5	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL2－LL1	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL2－LL3	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL4－LL3	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL4－LL5	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-

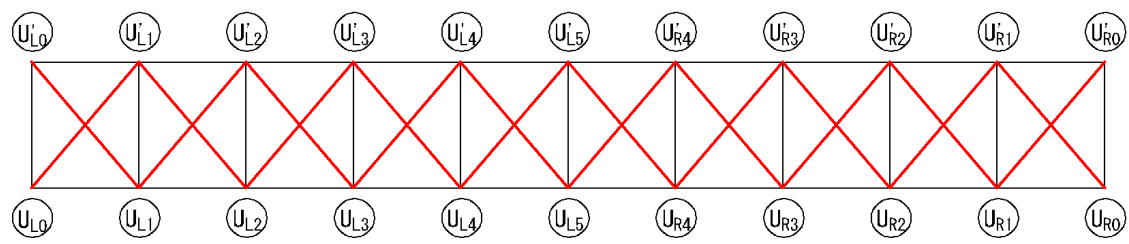
部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
UL4－LL5	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
UR2－LR3	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
UR4－LR3	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
UR4－LR5	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
補修数量合計	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
			-	-	3.6	90	1.8	15	8.4	27

3) 垂直材

下流側										
上流側										
部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数
U'L3－L'3	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
U'L5－L'5	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
U'R1－L'R1	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
U'R2－L'R2	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
U'R4－L'R4	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL1－LL1	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL2－LL2	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL3－LL3	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL4－LL4	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-

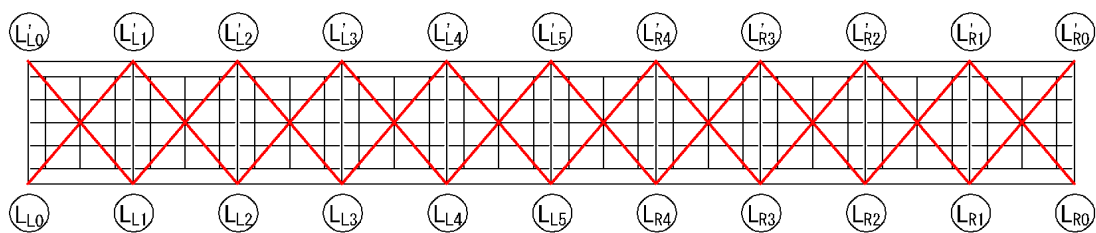
部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数
UL4－LL4	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL5－LL5	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UR2－LR2	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
補修数量合計			-	-	2.640	55	-	-	-	-

4) 上綾構



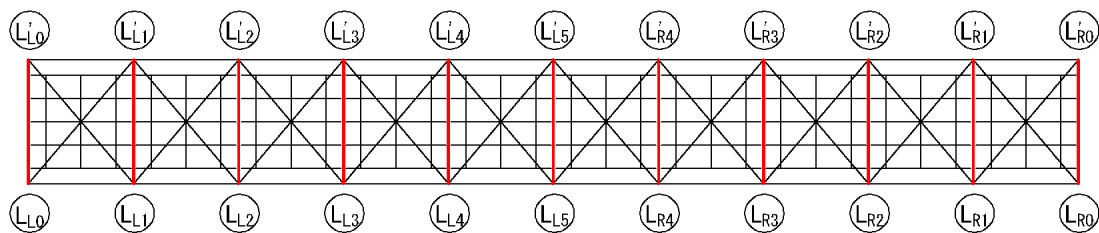
部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積(m²)	箇所数	面積(m²)	箇所数	面積(m²)	箇所数
UL0-U'L1	腐食(孔食)	F-4-1	200	500	-	-	0.100	1	-	-
UL2-U'L3	腐食(孔食)	F-4-1	200	500	-	-	0.100	1	-	-
UL4-U'L5	腐食(孔食)	F-4-1	200	500	-	-	0.100	1	-	-
補修数量合計			-	-	-	-	0.300	3	-	-

5) 下綾構



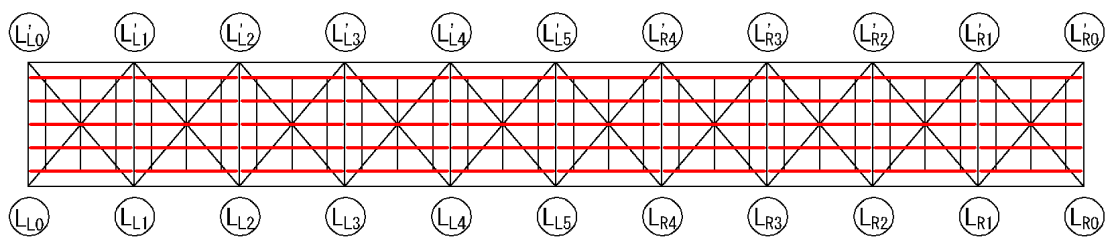
部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数
L'L0－LL1	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'L1－LL2	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'L2－LL3	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'L3－LL4	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'L4－LL5	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'R0－LR1	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'R1－LR2	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'R2－LR3	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'R3－LR4	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'R4－LR5	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
補修数量合計			-	-	1.200	20	-	-	-	-

6) 横桁



部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数
LL0-L'0	腐食	F-1-1	200	800	-	-	-	-	0.160	1
	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LL1-L'1	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LL2-L'2	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LL3-L'3	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LL4-L'4	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LL5-L'5	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LR0-L'R0	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LR1-L'R1	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LR2-L'R2	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LR3-L'R3	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LR4-L'R4	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
補修数量合計			-	-	0.440	11	-	-	7.860	23

7) 縦桁



部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積(m²)	箇所数	面積(m²)	箇所数	面積(m²)	箇所数
LL0-LL1 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LL1-LL2 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LL2-LL3 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LL3-LL4 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LL4-LL5 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LR0-LR1 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LR1-LR2 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LR2-LR3 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LR3-LR4 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LR4-LR5 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
補修数量合計			-	-	-	-	4.000	50	-	-

3.3.6 P5-A2 (第6径間)

(1) FRPシート補修工数量

1) 区分A : 0.01m2以上0.07m2未満

① 上弦材	=	-	m2	-	箇所	⑦ 横支材	=	-	m2	-	箇所
② 下弦材	=	-	m2	-	箇所	⑧ 下綾構	=	1.200	m2	20	箇所
③ 斜材	=	3.12	m2	78	箇所	⑨ 横桁	=	0.440	m2	11	箇所
④ 垂直材	=	2.88	m2	60	箇所	⑩ 縦桁	=	-	m2	-	箇所
⑤ 橋門構	=	-	m2	-	箇所	⑪ 対傾構	=	-	m2	-	箇所
⑥ 上綾構	=	-	m2	-	箇所						

Σ W = 7.640 m2

Σ n = 169 箇所

2) 区分B : 0.07m2以上0.15m2未満

① 上弦材	=	-	m2	-	箇所	⑦ 横支材	=	-	m2	-	箇所
② 下弦材	=	-	m2	-	箇所	⑧ 下綾構	=	-	m2	-	箇所
③ 斜材	=	1.56	m2	13	箇所	⑨ 横桁	=	-	m2	-	箇所
④ 垂直材	=	-	m2	-	箇所	⑩ 縦桁	=	4.000	m2	50	箇所
⑤ 橋門構	=	-	m2	-	箇所	⑪ 対傾構	=	-	m2	-	箇所
⑥ 上綾構	=	0.30	m2	3	箇所						

Σ W = 5.860 m2

Σ n = 66 箇所

3) 区分C : 0.15m2以上

① 上弦材	=	-	m2	-	箇所	⑦ 横支材	=	-	m2	-	箇所
② 下弦材	=	-	m2	-	箇所	⑧ 下綾構	=	-	m2	-	箇所
③ 斜材	=	7.40	m2	24	箇所	⑨ 横桁	=	7.860	m2	23	箇所
④ 垂直材	=	-	m2	-	箇所	⑩ 縦桁	=	-	m2	-	箇所
⑤ 橋門構	=	-	m2	-	箇所	⑪ 対傾構	=	-	m2	-	箇所
⑥ 上綾構	=	-	m2	-	箇所						

Σ W = 15.260 m2

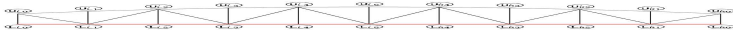
Σ n = 47 箇所

4) 数量集計表

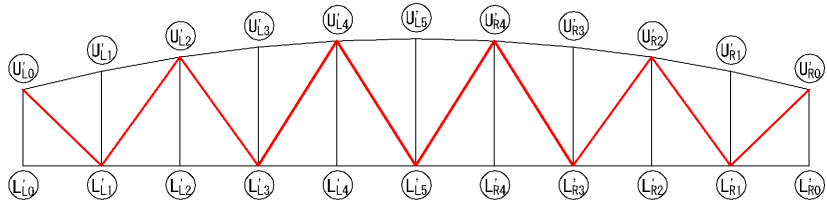
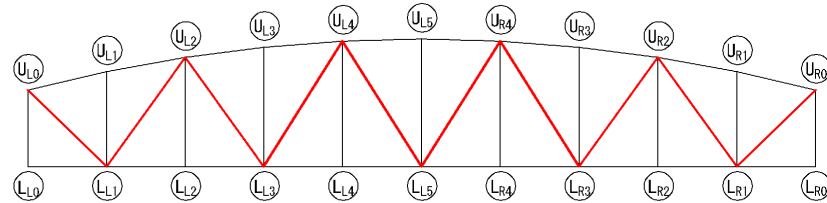
部材	FRPシート補修工							
	区分A		区分B		区分C		合計	
	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数
上弦材	-	-	-	-	-	-	0.0	0
下弦材	-	-	-	-	-	-	0.0	0
斜材	3.1	78	1.6	13	7.4	24	12.1	115
垂直材	2.9	60	-	-	-	-	2.9	60
橋門構	-	-	-	-	-	-	0.0	0
上綾構	-	-	0.3	3	-	-	0.3	3
横支材	-	-	-	-	-	-	0.0	0
下綾構	1.2	20	-	-	-	-	1.2	20
横桁	0.4	11	-	-	7.9	23	8.3	34
縦桁	-	-	4.0	50	-	-	4.0	50
対傾構	-	-	-	-	-	-	0.0	0
合計	7.6	169	5.9	66	15.3	47	28.8	282

(2) FRPシート補修工 内訳表

1) 下弦材

										
下流側										
										
上流側										
部材	損傷		補修数量：P5-A2（第6径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数
			補修数量合計			-	-	-	-	-

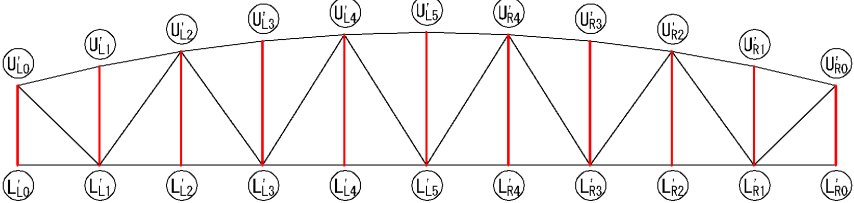
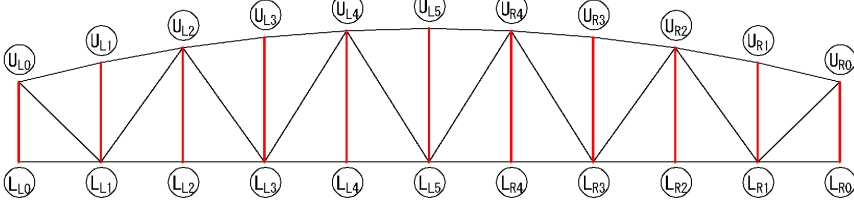
1) 斜材

下流側										
上流側										
部材	損傷		補修数量：P5-A2（第6径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
		面積 (m ²)			箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	
U'L2－L'3	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
U'L4－L'3	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
U'L4－L'5	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
U'R2－L'R1	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
U'R4－L'R3	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1

部材	損傷		補修数量：P5-A2（第6径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数
U'R4-L'R3	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
U'R4-L'R5	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
UL2-LL1	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	-	-	0.200	1
UL2-LL3	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
UL4-LL3	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
UL4-LL5	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
UR2-LR3	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
UR4-LR3	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-

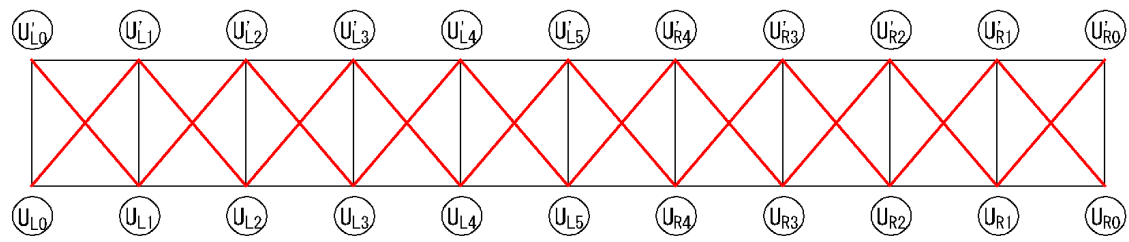
部材	損傷		補修数量：P5-A2（第6径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UR4－LR3	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
UR4－LR5	腐食(孔食)	F-1-2	500	400	-	-	-	-	0.200	1
	腐食(孔食)	F-3-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-4	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-5	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-6	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-7-2	400	1000	-	-	-	-	0.400	1
	腐食(孔食)	F-8-1	200	600	-	-	0.120	1	-	-
補修数量合計			-	-	3.1	78	1.6	13	7.4	24

2) 垂直材

下流側										
上流側										
部材	損傷		補修数量：P5-A2（第6径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数
U'L1-L'L1	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
U'L2-L'L2	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
U'L4-L'L4	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
U'L5-L'L5	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
U'R2-L'R2	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
U'R3-L'R3	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL1-LL1	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL2-LL2	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL3-LL3	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-

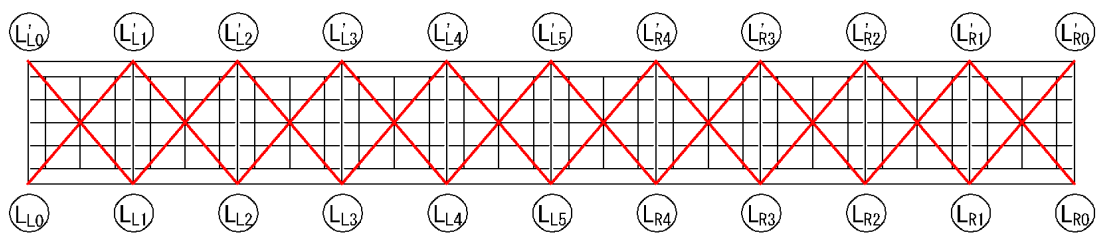
部材	損傷		補修数量：P5-A2（第6径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数	面積 (m ²)	箇所数
UL3－LL3	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UL4－LL4	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UR1－LR1	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
UR2－LR2	腐食(孔食)	F-1-1	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-2-6	300	200	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-4-1	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-5-3	200	200	0.040	1	-	-	-	-
補修数量合計			-	-	2.880	60	-	-	-	-

4) 上綾構



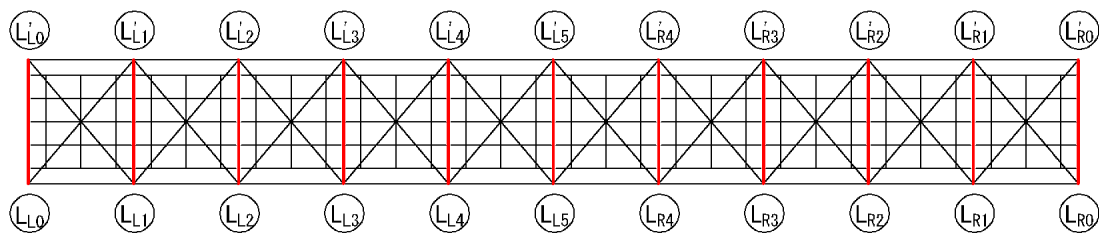
部材	損傷		補修数量：P5-A2（第6径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積(m²)	箇所数	面積(m²)	箇所数	面積(m²)	箇所数
UL0-U'L1	腐食(孔食)	F-4-1	200	500	-	-	0.100	1	-	-
UL1-U'L2	腐食(孔食)	F-4-1	200	500	-	-	0.100	1	-	-
UR1-U'R2	腐食(孔食)	F-4-1	200	500	-	-	0.100	1	-	-
補修数量合計			-	-	-	-	0.300	3	-	-

5) 下綾構



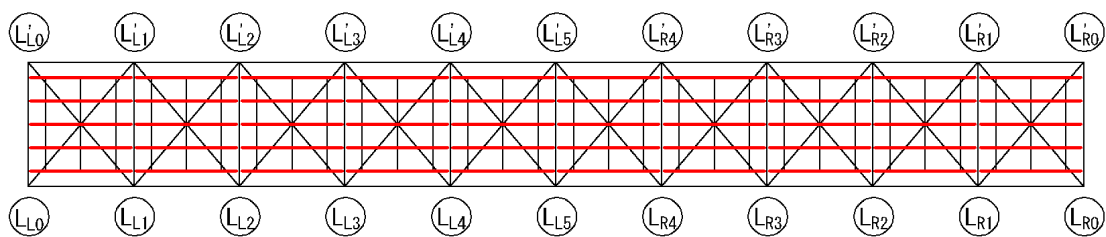
部材	損傷		補修数量：P5-A2（第6径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数
L'L0－LL1	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'L1－LL2	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'L2－LL3	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'L3－LL4	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'L4－LL5	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'R0－LR1	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'R1－LR2	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'R2－LR3	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'R3－LR4	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
L'R4－LR5	腐食(孔食)	F-1-3	200	300	0.060	1	-	-	-	-
	腐食(孔食)	F-1-4	200	300	0.060	1	-	-	-	-
補修数量合計			-	-	1.200	20	-	-	-	-

6) 横桁



部材	損傷		補修数量：P5-A2（第6径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数
LL0-L'0	腐食	F-1-1	200	800	-	-	-	-	0.160	1
	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LL1-L'1	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LL2-L'2	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LL3-L'3	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LL4-L'4	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LL5-L'5	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LR0-L'R0	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LR1-L'R1	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LR2-L'R2	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LR3-L'R3	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
LR4-L'R4	腐食	F-2-1	600	600	-	-	-	-	0.360	1
	腐食(孔食)	F-3-6	200	1700	-	-	-	-	0.340	1
	腐食(孔食)	F-4-2	200	200	0.040	1	-	-	-	-
補修数量合計			-	-	0.440	11	-	-	7.860	23

7) 縦桁



部材	損傷		補修数量：P5-A2（第6径間）							
	損傷の種類	補修番号	FRPシート							
			幅(mm)	長さ(mm)	区分A		区分B		区分C	
					面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数
LL0-LL1 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LL1-LL2 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LL2-LL3 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LL3-LL4 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LL4-LL5 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LR0-LR1 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LR1-LR2 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LR2-LR3 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LR3-LR4 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
LR4-LR5 St-1～5	腐食(孔食)	F-4-4	200	400	-	-	0.400	5	-	-
補修数量合計			-	-	-	-	4.000	50	-	-

3.4.5 P4-P5（第5径間）

(1) 不陸調整工数量

4-P5 1) 不陸整正工

5径間）面積

① 上弦材	=	3.0	m2	60	箇所	⑤ 橋門構	=	0.6	m2	10	箇所
② 下弦材	=	0.2	m2	2	箇所	⑥ 上綾構	=	0.0	m2	6	箇所
③ 斜材	=	7.9	m2	456	箇所	⑦ 横支材	=	0.2	m2	12	箇所
④ 垂直材	=	3.3	m2	189	箇所	⑧ 下綾構	=	5.8	m2	70	箇所
						⑨ 横桁	=	7.8	m2	98	箇所
						⑩ 縦桁	=	53.6	m2	450	箇所
						⑪ 対傾構	=	1.8	m2	30	箇所

$$\Sigma A = \boxed{84.337} \text{ m2}$$

$$\Sigma N = \boxed{1383} \text{ 箇所}$$

2) 鉄パテ

① 上弦材	=	0.008	m3	⑤ 橋門構	=	0.002	m3
② 下弦材	=	0.000	m3	⑥ 上綾構	=	0.000	m3
③ 斜材	=	0.028	m3	⑦ 横支材	=	0.001	m3
④ 垂直材	=	0.008	m3	⑧ 下綾構	=	0.019	m3
				⑨ 横桁	=	0.033	m3
				⑩ 縦桁	=	0.304	m3
				⑪ 対傾構	=	0.005	m3

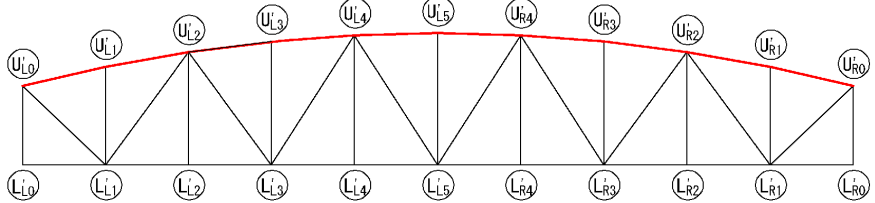
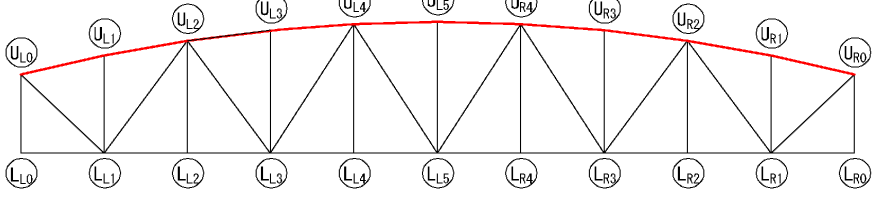
$$\Sigma V = \boxed{0.408} \text{ m3}$$

3) 数量集計表

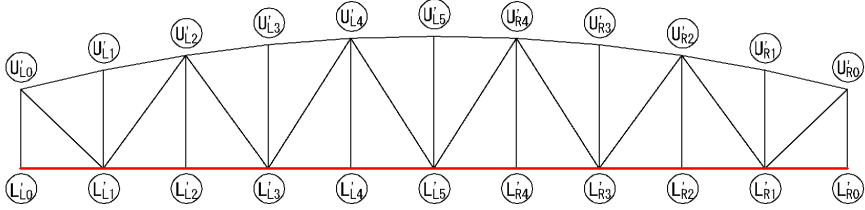
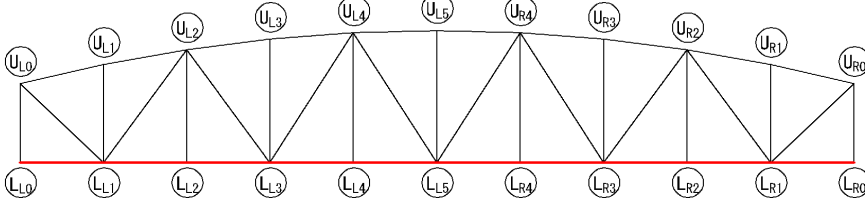
部材	不陸整正工		鉄パテ
	面積 (m ²)	箇所数	体積 (m ³)
上弦材	3.0	60	0.008
下弦材	0.2	2	0.000
斜材	7.9	456	0.028
垂直材	3.3	189	0.008
橋門構	0.6	10	0.002
上綾構	0.0	6	0.000
横支材	0.2	12	0.001
下綾構	5.8	70	0.019
横桁	7.8	98	0.033
縦桁	53.6	450	0.304
対傾構	1.8	30	0.005
合計	84.3	1383	0.408

(2) 不陸整正工 数量計算内訳表

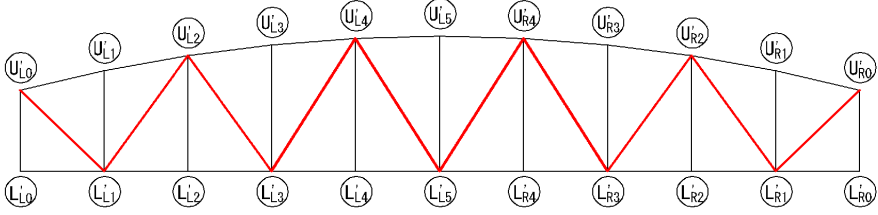
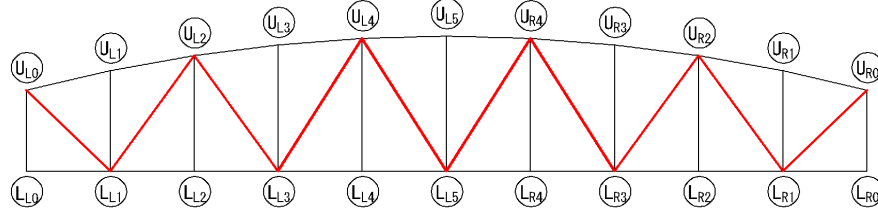
1) 上弦材

下流側 								
上流側 								
部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）					
	損傷の種類	補修番号	不陸調整工					
			幅(mm)	厚(mm)	長さ(mm)	箇所数	面積(m ²)	体積(m ³)
U'L1－U'L2	腐食	F-2-1	70	1	150	9	0.09450	0.00009
	腐食	F-3-1	400	2	770	1	0.30800	0.00062
	腐食	F-3-2	80	4	300	1	0.02400	0.00010
	腐食	F-3-3	400	4	690	1	0.27600	0.00110
	腐食	F-3-4	50	3	540	1	0.02700	0.00008
	腐食	F-4-1	100	3	100	1	0.01000	0.00003
	腐食	F-4-2	150	1	150	1	0.02250	0.00002
U'L3－U'L4	腐食	F-2-1	70	1	150	9	0.09450	0.00009
	腐食	F-3-1	400	2	770	1	0.30800	0.00062
	腐食	F-3-2	80	4	300	1	0.02400	0.00010
	腐食	F-3-3	400	4	690	1	0.27600	0.00110
	腐食	F-3-4	50	3	540	1	0.02700	0.00008
	腐食	F-4-1	100	3	100	1	0.01000	0.00003
	腐食	F-4-2	150	1	150	1	0.02250	0.00002
U'R0－U'R1	腐食	F-2-1	70	1	150	9	0.09450	0.00009
	腐食	F-3-1	400	2	770	1	0.30800	0.00062
	腐食	F-3-2	80	4	300	1	0.02400	0.00010
	腐食	F-3-3	400	4	690	1	0.27600	0.00110
	腐食	F-3-4	50	3	540	1	0.02700	0.00008
	腐食	F-4-1	100	3	100	1	0.01000	0.00003
	腐食	F-4-2	150	1	150	1	0.02250	0.00002
UL0－UL1	腐食	F-2-1	70	1	150	9	0.09450	0.00009
	腐食	F-3-1	400	2	770	1	0.30800	0.00062
	腐食	F-3-2	80	4	300	1	0.02400	0.00010
	腐食	F-3-3	400	4	690	1	0.27600	0.00110
	腐食	F-3-4	50	3	540	1	0.02700	0.00008
	腐食	F-4-1	100	3	100	1	0.01000	0.00003
	腐食	F-4-2	150	1	150	1	0.02250	0.00002
補修数量合計			-	-	-	60	3.048	0.008

2) 下弦材

下流側 								
上流側 								
部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）					
	損傷の種類	補修番号	不陸調整工					
			幅(mm)	厚(mm)	長さ(mm)	箇所数	面積(m ²)	体積(m ³)
LR0-LR1	腐食	F-3-1	150	1	1250	1	0.18750	0.00019
	腐食	F-3-2	330	1	100	1	0.03300	0.00003
補修数量合計			480	2	1350	2	0.221	0.000

3) 斜材

下流側								
								
部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）					
	損傷の種類	補修番号	不陸調整工					
			幅(mm)	厚(mm)	長さ(mm)	箇所数	面積(m ²)	体積(m ³)
U'L0-L'L1	腐食	F-8-2	40	2	100	1	0.00400	0.00001
		F-8-3	40	3	200	1	0.00800	0.00002
		F-8-4	50	5	100	1	0.00500	0.00003
U'L2-L'L1	腐食	F-1-1	200	4	90	1	0.01800	0.00007
		F-3-1	200	3	100	1	0.02000	0.00006
		F-3-2	350	4	200	1	0.07000	0.00028
		F-4-1	150	1	50	2	0.01500	0.00002
		F-4-2	50	4	50	17	0.04250	0.00017
		F-5-1	200	4	200	1	0.04000	0.00016
		F-5-2	200	2	500	1	0.10000	0.00020
		F-5-7	100	6	200	1	0.02000	0.00012
		F-7-3	250	4	700	1	0.17500	0.00070
		F-8-2	40	2	100	1	0.00400	0.00001
		F-8-3	40	3	200	1	0.00800	0.00002
		F-8-4	50	5	100	1	0.00500	0.00003
		F-8-5	100	3	100	1	0.01000	0.00003
		F-1-1	200	4	90	1	0.01800	0.00007
		F-3-1	200	3	100	1	0.02000	0.00006
U'L2-L'L3	腐食	F-3-2	350	4	200	1	0.07000	0.00028
		F-4-1	150	1	50	2	0.01500	0.00002
		F-4-2	50	4	50	17	0.04250	0.00017
		F-5-1	200	4	200	1	0.04000	0.00016
		F-5-2	200	2	500	1	0.10000	0.00020
		F-5-7	100	6	200	1	0.02000	0.00012
		F-7-3	250	4	700	1	0.17500	0.00070
		F-8-2	40	2	100	1	0.00400	0.00001
		F-8-3	40	3	200	1	0.00800	0.00002
		F-8-4	50	5	100	1	0.00500	0.00003
		F-8-5	100	3	100	1	0.01000	0.00003
		F-1-1	200	4	90	1	0.01800	0.00007
		F-3-1	200	3	100	1	0.02000	0.00006
		F-3-2	350	4	200	1	0.07000	0.00028
		F-4-1	150	1	50	2	0.01500	0.00002
U'L4-L'L3	腐食	F-4-2	50	4	50	17	0.04250	0.00017
		F-5-1	200	4	200	1	0.04000	0.00016
		F-5-2	200	2	500	1	0.10000	0.00020
		F-5-7	100	6	200	1	0.02000	0.00012
		F-7-3	250	4	700	1	0.17500	0.00070
		F-8-2	40	2	100	1	0.00400	0.00001
		F-8-3	40	3	200	1	0.00800	0.00002
U'L4-L'L3	腐食	F-8-2	40	2	100	1	0.00400	0.00001
		F-8-3	40	3	200	1	0.00800	0.00002

部材	損傷		補修数量：P4-P5（第5径間）					
	損傷の種類	補修番号	不陸調整工					
			幅(mm)	厚(mm)	長さ(mm)	箇所数	面積 (m ²)	体積 (m ³)
	腐食	F-8-4	50	5	100	1	0.00500	0.00003
	腐食	F-8-5	100	3	100	1	0.01000	0.00003
U'L4－L'L5	腐食	F-1-1	200	4	90	1	0.01800	0.00007
	腐食	F-3-1	200	3	100	1	0.02000	0.00006
	腐食	F-3-2	350	4	200	1	0.07000	0.00028
	腐食	F-4-1	150	1	50	2	0.01500	0.00002
	腐食	F-4-2	50	4	50	17	0.04250	0.00017
	腐食	F-5-1	200	4	200	1	0.04000	0.00016
	腐食	F-5-2	200	2	500	1	0.10000	0.00020
	腐食	F-5-7	100	6	200	1	0.02000	0.00012
	腐食	F-7-3	250	4	700	1	0.17500	0.00070
	腐食	F-8-2	40	2	100	1	0.00400	0.00001
	腐食	F-8-3	40	3	200	1	0.00800	0.00002
	腐食	F-8-4	50	5	100	1	0.00500	0.00003
	腐食	F-8-5	100	3	100	1	0.01000	0.00003
	腐食	F-1-1	200	4	90	1	0.01800	0.00007
	腐食	F-3-1	200	3	100	1	0.02000	0.00006
U'R2－L'R1	腐食	F-3-2	350	4	200	1	0.07000	0.00028
	腐食	F-4-1	150	1	50	2	0.01500	0.00002
	腐食	F-4-2	50	4	50	17	0.04250	0.00017
	腐食	F-5-1	200	4	200	1	0.04000	0.00016
	腐食	F-5-2	200	2	500	1	0.10000	0.00020
	腐食	F-5-7	100	6	200	1	0.02000	0.00012
	腐食	F-7-3	250	4	700	1	0.17500	0.00070
	腐食	F-8-2	40	2	100	1	0.00400	0.00001
	腐食	F-8-3	40	3	200	1	0.00800	0.00002
	腐食	F-8-4	50	5	100	1	0.00500	0.00003
	腐食	F-8-5	100	3	100	1	0.01000	0.00003
	腐食	F-1-1	200	4	90	1	0.01800	0.00007
	腐食	F-3-1	200	3	100	1	0.02000	0.00006
	腐食	F-3-2	350	4	200	1	0.07000	0.00028
	腐食	F-4-1	150	1	50	2	0.01500	0.00002
U'R2－L'R3	腐食	F-4-2	50	4	50	17	0.04250	0.00017
	腐食	F-5-1	200	4	200	1	0.04000	0.00016
	腐食	F-5-2	200	2	500	1	0.10000	0.00020
	腐食	F-5-7	100	6	200	1	0.02000	0.00012
	腐食	F-7-3	250	4	700	1	0.17500	0.00070
	腐食	F-8-2	40	2	100	1	0.00400	0.00001
	腐食	F-8-3	40	3	200	1	0.00800	0.00002
	腐食	F-8-4	50	5	100	1	0.00500	0.00003
	腐食	F-8-5	100	3	100	1	0.01000	0.00003
	腐食	F-1-1	200	4	90	1	0.01800	0.00007
	腐食	F-3-1	200	3	100	1	0.02000	0.00006
	腐食	F-3-2	350	4	200	1	0.07000	0.00028
	腐食	F-4-1	150	1	50	2	0.01500	0.00002
	腐食	F-4-2	50	4	50	17	0.04250	0.00017
	腐食	F-5-1	200	4	200	1	0.04000	0.00016
U'R4－L'R3	腐食	F-5-2	200	2	500	1	0.10000	0.00020
	腐食	F-5-7	100	6	200	1	0.02000	0.00012
	腐食	F-7-3	250	4	700	1	0.17500	0.00070
	腐食	F-8-2	40	2	100	1	0.00400	0.00001
	腐食	F-8-3	40	3	200	1	0.00800	0.00002
	腐食	F-8-4	50	5	100	1	0.00500	0.00003
	腐食	F-8-5	100	3	100	1	0.01000	0.00003
	腐食	F-1-1	200	4	90	1	0.01800	0.00007
	腐食	F-3-1	200	3	100	1	0.02000	0.00006
	腐食	F-3-2	350	4	200	1	0.07000	0.00028
	腐食	F-4-1	150	1	50	2	0.01500	0.00002
	腐食	F-4-2	50	4	50	17	0.04250	0.00017
	腐食	F-5-1	200	4	200	1	0.04000	0.00016
	腐食	F-5-2	200	2	500	1	0.10000	0.00020
	腐食	F-5-7	100	6	200	1	0.02000	0.00012
U'R4－L'R5	腐食	F-7-3	250	4	700	1	0.17500	0.00070
	腐食	F-8-2	40	2	100	1	0.00400	0.00001
	腐食	F-8-3	40	3	200	1	0.00800	0.00002
U'R4－L'R3	腐食	F-8-4	50	5	100	1	0.00500	0.00003
	腐食	F-8-5	100	3	100	1	0.01000	0.00003
U'R4－L'R5	腐食	F-1-1	200	4	90	1	0.01800	0.00007
	腐食	F-3-1	200	3	100	1	0.02000	0.00006
	腐食	F-3-2	350	4	200	1	0.07000	0.00028
	腐食	F-4-1	150	1	50	2	0.01500	0.00002